

平成 **20** 年度

龍ヶ崎市 予算の概要



関東大学サッカーリーグ戦



第1回中学校駅伝競走大会



スポーツレクリエーションまつり2007

平成 20 年 2 月

目 次

1	平成20年度予算編成にあたって	1
2	龍ヶ崎市の総合計画	2
3	予算編成における取り組み	3
4	平成20年度予算の概要	4
5	主要事業の概要	9
6	平成20年度施策別事業一覧	13
7	主な事業の内容と財源の内訳	19
8	平成20年度市民一人あたりの予算	21
9	一般会計を家計にたとえると	22
10	各会計の状況	
	(1) 一般会計	23
	(2) 特別会計	28
	① 国民健康保険事業特別会計	28
	② 公共下水道事業特別会計	29
	③ 老人保健事業特別会計	29
	④ 公共用地先行取得事業特別会計	30
	⑤ 農業集落排水事業特別会計	30
	⑥ 介護保険事業特別会計	31
	⑦ 介護サービス事業特別会計	31
	⑧ 障がい者自立支援サービス事業特別会計	32
	⑨ 後期高齢者医療事業特別会計	32
資 料		
	資料 1	33
	平成20年度予算編成方針について(市長通知)	
	資料 2	35
	1 人口と一般会計当初予算額の推移	
	2 地方債現在高の推移(会計別)	
	3 財政指標の推移と比較(普通会計)	
	4 一般財源の推移	
	5 将来における財政負担の状況	

1 平成 20 年度予算編成にあたって

～まち育てと予算～

龍ヶ崎市を「住みやすいまち」に育てたい。それが私の念願であります。

「住みやすいまち」それは、「安全で安心して暮らせるまち」であると考えています。平成 20 年度の予算編成にあたり、この厳しい財政状況のなかで「まち育て」の財源をいかに確保するかを最大の課題として取り組みました。

本市にとって平成 20 年度は、将来都市像である「共によろこび 共に育てる 健康・教育都市」に向けた施策展開が本格化する重要な年度です。具体的には、重点的かつ優先的に取り組むべき事業である「リーディングプロジェクト」を中心に「龍ヶ崎らしい」住みやすいまちづくりに努めてまいります。

一方で、持続可能な財政基盤を確立し、行政活動・市民活動に必要な、そして将来のための「まち育て」財源を確保しなければなりません。

将来のための事業展開と財政健全化、この相反する課題に立ち向かいながらの予算編成ではありましたが、子どもの人間力をはぐくむ「教育」の充実や、犯罪が起こりにくいまち、災害に強いまちづくりに取り組み、市民の安心、安全の確保に財源を重点配分できたと考えています。

しかし、予算を確保すれば良いということではなく、いかに使うかが重要です。こうした観点からも、「市民の視点」で「成果重視」の予算執行により、より多くの市民に満足していただけるよう、サービスの向上に努めます。

龍ヶ崎市長 串田 武久

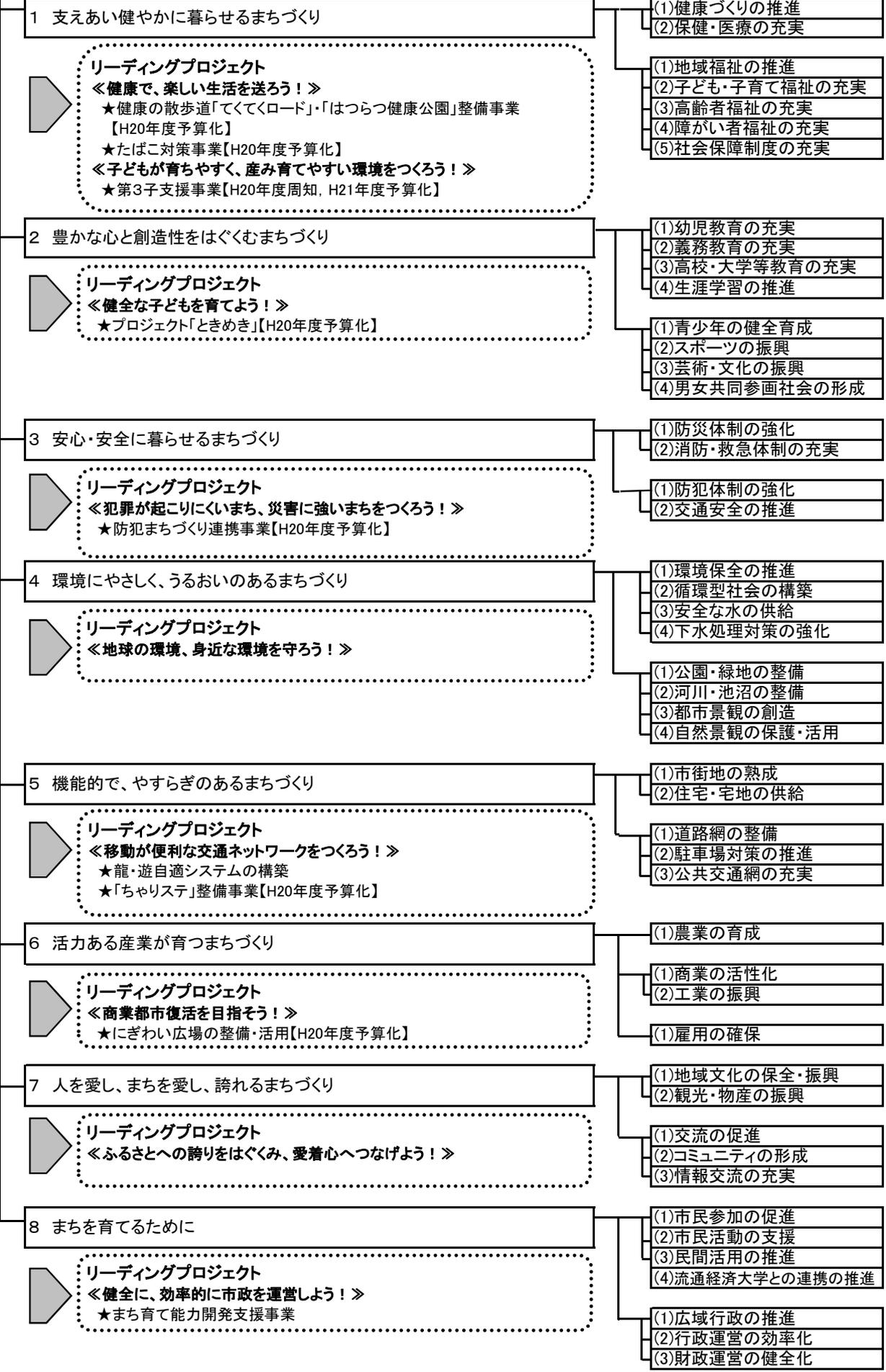
できるだけ分かりやすい説明を心がけています。

お気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せ下さい。



2 龍ヶ崎市の総合計画(前期基本計画H19年度～H23年度)

将来都市像 共によるこび 共に育てる 健康・教育都市



3 予算編成における取り組み

平成 20 年度の地方財政は、これまでに実施された「三位一体の改革」による地方交付税の削減など国の財政健全化の断行により、非常に厳しい運営を余儀なくされています。この状況は龍ヶ崎市においても例外ではなく、市民の皆さんの理解・協力(協働)をいただきながら「自主・自立」の精神を強くもった行財政運営を行わなければなりません。そのためには「現状はどうか」「目指すものは何か」「そのための取り組みは」などを正確かつタイムリーにお知らせし、情報と意識の共有に取り組みます。

市の予算は、市民サービスを提供するための収入・支出の計画書であり、市民の皆さんのお金(税金など)を必要なサービスや事業に配分したものです。予算編成にあたっては、以下の手法で取り組みました。

- ① 財政推計(今後の収支見通し)を実施し、現状を把握します。
- ② 市民ニーズなどに基づく予算要求を取りまとめ、さまざまな視点からチェックを行います。

- ・ 総合計画など市の方針に合っているか？
- ・ 第2次財政健全化プランの取り組みが反映されているか？
- ・ 市民の健康づくり, 安心・安全の確保に配慮されているか？
- ・ 子育て支援や教育の充実はなされているか？
- ・ 職員の努力によるゼロ的予算事業・チャレンジ事業に取り組んでいるか？など。

- ③ 財源確保の状況を見ながら、重点事業を優先して予算を配分します。

これを繰り返し、何度も話し合い、最終的には市長の判断を経て予算案を決定、市民の代表である議会に提出し、さらなる議論のうえ決定されます。

平成19年度財政推計(決算ベース)

(単位:百万円)

項 目		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
収 入	市民・企業の税金	10,845	10,869	11,071	11,178	11,251
	交付税・交付金など(国の配分金)	4,226	4,161	4,095	4,145	4,125
	分担金・負担金, 使用料, 手数料	683	690	693	695	696
	国・県からの負担金	2,500	2,822	2,313	2,273	2,325
	前年からの繰越金	624	244	0	0	0
	貯金の取崩し	553	429	0	0	0
	市債(借金)	1,564	1,818	1,469	1,462	1,409
	その他の収入	792	773	778	780	786
	収入計	21,788	21,807	20,419	20,533	20,590
支 出	人件費(職員給与等)	4,478	4,466	4,439	4,433	4,419
	物件費	2,872	3,041	3,102	3,122	3,194
	維持補修費	164	167	170	174	177
	扶助費(福祉, 給付等)	2,853	2,904	2,908	2,913	2,924
	他団体への負担金等	3,767	3,809	3,825	3,869	3,893
	公共施設建設事業費	2,193	2,715	1,600	1,600	1,600
	公債費(借金返済)	3,083	2,999	2,842	3,141	3,057
	特別会計への繰出金	1,950	1,921	1,978	2,026	2,081
	その他の支出	185	250	72	72	72
支出計	21,544	22,272	20,936	21,350	21,415	
収入支出差引		244	△465	△517	△817	△825

※ 推計額を百万円単位で四捨五入した数値です。計などが表内の計算と合わない場合があります。

この推計は、平成 20 年度予算編成の際に作成したものです。収入支出差引が 20 年度以降マイナスとなり、このままでは、基金(市の貯金)の取崩しをしなければなりません。引き続き財政健全化に取り組む必要があります。

平成 20 年度の当初予算(案)においては、財政調整基金の繰入により財源不足を補っています。

4 平成 20 年度予算の概要

平成 20 年度予算について、龍夫さんと崎子ちゃんに編成状況や概要を紹介してもらいます。

崎子 予算編成が終了したようですね。良かったですですね、先輩。

龍夫 何とか組めて、一応ほっとしたけど…。良かったかどうかは、わからない。

崎子 えー。良かったじゃないんですか？これで1年間の予算ができて、みんなの仕事も決まったんですから。

龍夫 まあ。そういう意味では良かったけど…。僕が言っているのは、そういう意味じゃなくて、予算の内容の話なんだ。じゃ、崎子ちゃんに聞くけど、20年度予算を簡単に説明すると、どんな予算だと思う？

崎子 うーん。ひとことで言うと、緊縮予算かな。だって、前年度より予算規模が小さくなって、行政改革も進めているみたいだし…。



予算総括表

(単位:千円, %)

会 計 別	平成20年度	平成19年度	比 較	増減率	
一 般 会 計	21,574,000	22,266,000	△692,000	△3.1	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	6,898,000	6,904,000	△6,000	△0.1
	公 共 下 水 道 事 業	3,577,000	2,383,500	1,193,500	50.1
	老 人 保 健 事 業	413,800	4,204,500	△3,790,700	△90.2
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業	2	2	0	-
	農 業 集 落 排 水 事 業	51,100	47,600	3,500	7.4
	介 護 保 険 事 業	2,928,000	2,728,000	200,000	7.3
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	22,200	21,730	470	2.2
	障 がい 者 自 立 支 援 サ ー ビ ス 事 業	43,100	32,400	10,700	33.0
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	819,000	-	819,000	皆増
	特 別 会 計 合 計	14,752,202	16,321,732	△1,569,530	△9.6
総 計	36,326,202	38,587,732	△2,261,530	△5.9	

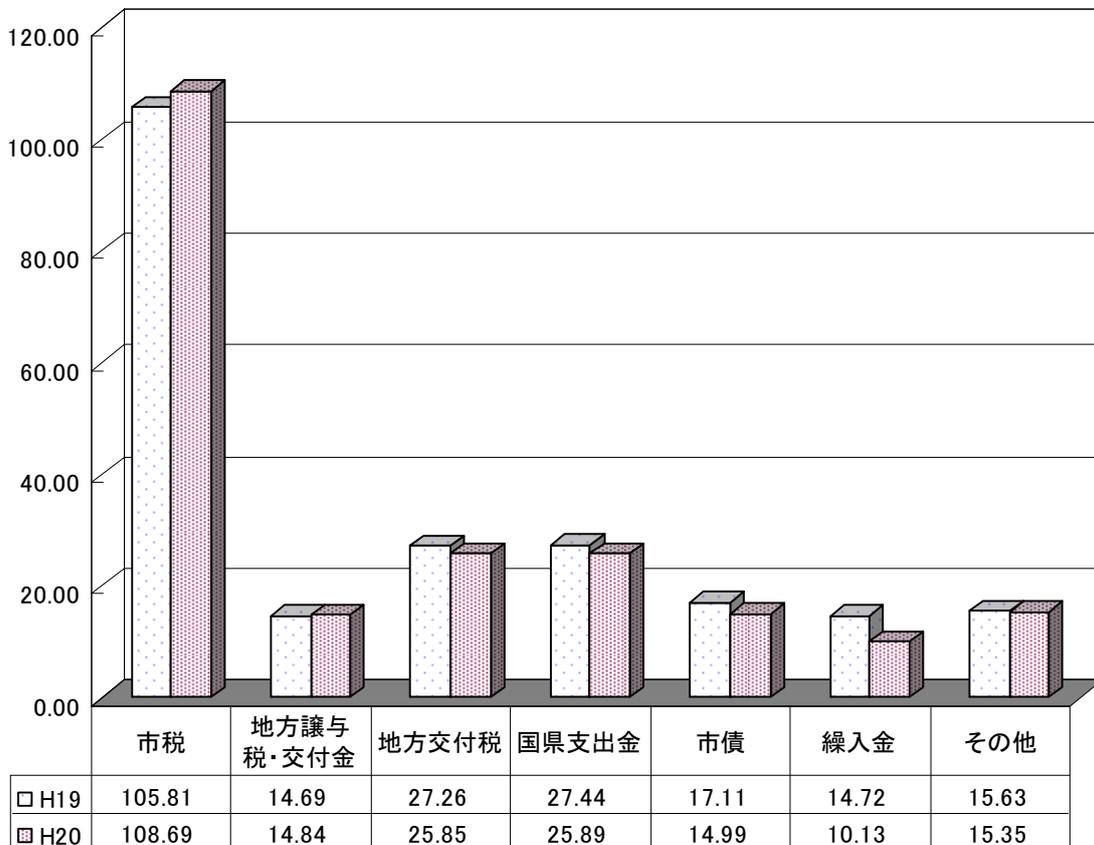
龍夫 そう。馴染小学校の改築や、総合運動公園建設のような大規模建設事業の減少を加味しても、確かに緊縮といえるね。でも、今、市が取り組まなければならない課題もたくさんあるんだ。そんな中でなぜ緊縮予算にしなければならなかったと思う？

崎子 それは…えーっと。なんででしたっけ？

龍夫 市税のような市の判断で使える収入があまり伸びてないんだ。それでほんとに良かったとは喜べないんだ。市の収入についても少し理解しないとね。

(単位:億円)

歳入の状況



崎子 よかったら、市の収入のこと少し教えてください。

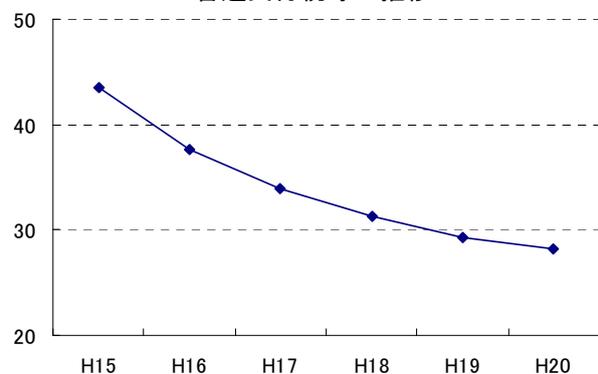
龍夫 いいよ。市の収入で最も大きいのが市税で、次が国県からの補助金、地方交付税、市債、地方譲与税や交付金、繰入金の順になっている。

地方交付税というのは一定の算定基準によって国から地方に国税が配分されるものなんだけど、このところ毎年減ってるんだ。

崎子 そういえば、三位一体の改革があって、それで大きく地方交付税が減ったって聞いたわ。でもその改革は終わったし、国税が市町村税に切り替わる「税源移譲」があって、市の収入は増えるんじゃないのかな？

(単位:億円)

普通交付税等の推移



龍夫 それは、甘い甘い。三位一体の改革は終わったけど、国は引き続き改革を行っていて、税源移譲で市税が増えても、その分国の補助金などが減ってるんだ。

その中で最も削減されてるのが地方交付税なんだ。

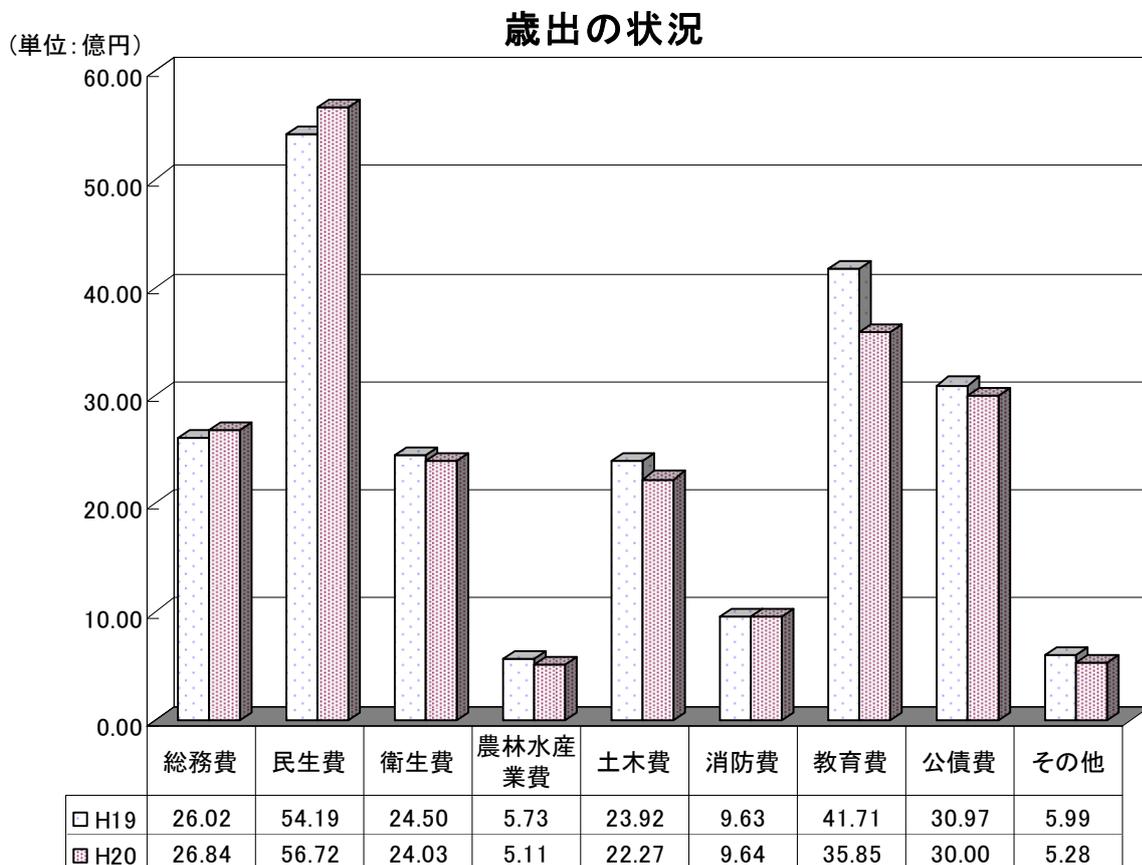
地方交付税に頼らざるを得ない市町村は、ますます厳しくなるってことさ。

崎子 えー。なんだかやりきれないわねー。

龍夫 でも、落ち込んでいる暇はないんだ。財政状況が厳しくても、市民の皆さんがより幸せな生活が送れるように努力しなきゃならない。
だから、少ない経費で大きな効果が上げられるよう、財政健全化に積極的に取り組んでいかなくてはならないんだ。

崎子 お金を使わなくてもできる仕事もあるものね。

龍夫 今年から、ゼロ的予算事業、チャレンジ事業を促進しているよ。職員の努力によってできる事業。お金をそんなにかけないでできるものやっいていこうと……。通常の業務の合間に清掃や草刈りをしたり、市民への講座に出かけたり……。20年度からは、たつのこフィールドの芝の管理も職員で行うんだ。みんな頑張っているよ。



崎子 いろんな工夫をして、経費の削減をしているのね。

龍夫 おかげで、予算規模を小さくすることができたとも言えるんだ。そんな中でも課題を克服するため、昨年より増えている経費もある。
総務費は、住民記録や税といった基幹系システムの入れ換えを行うんだ。
戸籍も電算化される予定だよ。

崎子 窓口でお待たせする時間も短縮できるわね。

龍夫 そうだね。あと、大きく伸びているのは民生費。いわゆる福祉予算なんだけど、前年度

より4.7%増えてるんだ。

子育て支援センターさんさん館の保育指導員を1人増員したり、障がい者施設のつぼみ園や地域活動支援センターでもスタッフの増員を図っているよ。
学童保育の施設も増設するんだ。

崎子 高齢者の医療制度なんかも変わるのよね？

龍夫 医療制度改革で、老人保健制度に変わって後期高齢者医療制度が施行されるんだ。新しく特別会計も設置する予定だよ。それに、40歳から74歳までの人を対象とした特定健診も始まるんだ。

けど、そのおかげで、いろいろな電算システムも変えなきゃならない。お金がかかっちゃって大変なんだ。医療費が下がればいいけど…。介護保険や国民健康保険への繰出金も増加傾向だし…。

崎子 いろいろなところで予算が増加しているみたいだけど、大丈夫なの？

龍夫 ちょっと心配な面もあるけど、収入面も含めて計画的に進めているよ。財政健全化によって、経費の効率化や縮減も図ってきているし、事業の見直しなども進めて、必要な予算は確保していく方針なんだ。毎年ギリギリの予算でも、少しずつ改善しながら進めていかなきゃと思っている。

崎子 来年度は、職員採用もないのよね。

龍夫 今年度の退職者が19名なんだけど、来年度は補充しないんだ。その分職員ひとりひとりが頑張らないと。

崎子 そのほか、20年度にはどんな事業があるの？



龍夫 来年度に予算化した主な事業については、施策ごとに整理してあるから、後で見といていいよ。

例えば、安心・安全に新しい事業を入れたよ。安心といえば防災。地域ごとに設置されている防災組織をより強化して行こうと考えている。防災マップを作って、危険な場所などを市民の皆さんに知らせたいんだ。

あと、全部の小学校にAEDを配備する予定だよ。子どもたちの安全を守るばかりでなく、夜間は体育館を一般開放しているからね。

崎子 AEDは市役所の1階にもあるわよね。私も講習を受けたけど、使い方あまり自信がないわ。

龍夫 うーん。講習を1回受けただけではそうかもね。多くの人に救命講習を受けてもらうのはもちろんだけど、講習を定期的を受けてもらって、使い方を忘れないようにしないとね。

崎子 がんばります！ところで、龍ヶ崎市が力を入れている教育はどうなの？ 馴染小学校の校舎が完成したみたいだけど。この前取材に行ったけど、すごくきれい！

龍夫 馴染小学校は、今年1月から新校舎で授業ができるようになったね。20年度では、体

育館の改築を行う予定なんだ。それが終わらないとグラウンドも使えないし、終わったことにならないね。

教育では、ソフト面でも重点施策を継続していくよ。少人数指導とか、チームティーチング、教育相談なんかもね。

崎子 去年、龍ヶ崎市はスポーツ健康都市の宣言を行ったわよね。何か新しい事業は考えているの？1月に開催した中学校の駅伝大会もそうなの？

龍夫 そうだね。駅伝大会は市と体育協会が企画して、ライオンズクラブの協力で行ったんだ。今後も続けていく予定だよ。

新しい事業としては、スポーツ振興基本計画を作る予定なんだ。流通経済大学の先生のアドバイスや市民の皆さんの意見をもらって、職員がまとめていこうと考えているよ。それに、たつのこアリーナ、フィールドを活用してのイベントや各種教室、指導者の育成や派遣も充実していくんだ。

崎子 フィールドといえば、野球場の建設は順調にいったるの？予算を繰り越しているって聞いたけど。

龍夫 そうなんだ。でも担当職員も努力しているし、来年度も予定どおり予算計上したんだ。そういう意味では、積極予算かなあ。でも、この総合運動公園は、市のスポーツ健康施策の中核施設だからね。何とか完成させたいんだ。

崎子 健康づくりや子育てではどう？少子化の問題もあるし…。だいぶ薬害肝炎などが報道されてるけど。

龍夫 そうそう。肝炎ウィルスの検査、当面は無料で受けられることにしたんだ。あと、介護予防の観点から、元気アップ！！貯筋講座の数を大幅に増やした。それから、20年度は中央保育所が民営化されるよ。民間活力の導入とともに、職員の配置転換による経費削減も期待できるんだ。

崎子 私のところも、今年はホームページのリニューアルもあって、忙しいみたい。これだけインターネットや携帯電話が普及すると、市民の皆さんへの情報発信という意味でも、ホームページの役割はますます高くなるものね。市長さんもメールマガジンを始めるんですって。がんばって、少しでも役に立つようにしなきゃ…。



龍夫 わかりやすく、みんなに楽しく見てもらえるホームページを作らないとね。責任重大だ。

崎子 もう、プレッシャーかけないでください。

龍夫 ごめんごめん。事業を何もしなければ、財政運営は楽だけど、そうはいかない。市民サービスを低下させないように、ギリギリの財政運営をしながら、サービスの不足するところは職員の努力でカバーしていかないと。

崎子 これから大切なのは、予算の使い方ですね。大切に使わなきゃ。

5 主要事業の概要

**安全
安心**

「安心・安全のまちづくり」

AEDの配備(全小学校), 救命講習の実施, 自主防災連合会設立(講演会開催・テキスト配布), 防災士養成事業, 消火栓設置工事, 防災マップ作成, 防犯サポーターによる市内巡回, 全小学校遊具点検, 市営住宅手すり設置

「子育て世代の福祉増進」

子育て

次世代育成支援後期行動計画策定, 子育て支援センター運営充実, 学童保育ルーム充実(八原・城ノ内小保育ルーム), こんにちは赤ちゃん事業(生後4か月までの乳児全戸訪問), かるがも教室開催, 子育てサポート助成, プロジェクト「ときめき」

「学校教育の充実」

教育

いきいき龍の子育成推進事業, 馴柴小学校改築事業, 中根台中学校グラウンド改修工事, チームティーチング特別配置事業, 少人数指導推進事業, 英語指導助手配置, さわやか相談員派遣事業, 魅力ある学校・地域づくり事業

「スポーツ健康都市づくり」

総合運動公園野球場等建設, スポーツ振興基本計画策定, 中学校駅伝競走大会, 龍・流連携事業(市民講座, 龍・流カップサッカー大会開催), スポーツ教室開催, スポーツ指導者育成・派遣事業, 健康遊具設置, げんきあっぷ! 応援事業の拡充, 元気サロン運営, 生活習慣病予防対策推進事業

健康

公共施設で展開する主要事業

- 市役所
 - ・広報ボランティア制度
 - ・市公式ホームページリニューアル
 - ・市民まちづくりアンケート調査
 - ・防災マップ作成
 - ・戸籍システム導入
- 小中学校
 - ・全小学校にAEDを配備
 - ・全小学校遊具点検
 - ・障がい児就学介助事業
 - ・魅力ある学校・地域づくり推進事業
 - ・語学指導事業（英語指導助手・英語指導スーパーバイザーの配置）
 - ・放課後児童健全育成（学童保育）事業（午後6時30分まで、全小学校）
 - ・少人数指導推進事業（講師の全小学校配置）
 - ・学校図書館司書配置事業（全小中学校）
 - ・さわやか相談員派遣事業（全小中学校）
 - ・チームティーチング特別配置事業（小学校7校）
 - ・プロジェクト「ときめき」（小学校2校）
- 教育センター
 - ・教育相談，適応指導教室運営事業
- 中央図書館
 - ・開館時間（午後7時まで，週4日）
 - ・子ども読書活動推進事業（ブックスタートなど）
- さんさん館
 - ・子育て支援センター運営充実（保育指導員1人増員）
- 文化会館
 - ・国民文化祭「食の祭典」開催（文化会館及びにぎわい広場）
 - ・NHKのだ自慢開催
- たつのこアリーナ
 - ・小中学校授業によるプールの活用
 - ・スポーツ指導者派遣事業
 - ・スポーツ教室（エアロビクス，アクアビクスなど）
 - ・幼児一時預かり事業（週4日）
- たつのこフィールド
 - ・JFL開催（流通経済大学サッカー部ホームゲーム）
 - ・関東大学サッカーリーグ戦開催
 - ・中学校駅伝競走大会
 - ・スポーツレクリエーションまつり
- 元気サロン松葉館
 - ・健康相談，各種教室の開催
- 保健センター
 - ・子育て相談事業（子育てアドバイザーなど）
 - ・中一，高三麻しん風しん混合予防接種，おたふくかぜ予防接種助成
- 公民館
 - ・げんきあっぷ！応援事業（講座開催数増：各地区公民館）
- 各都市公園
 - ・「はつらつ健康公園」整備事業（健康遊具設置）
 - ・「てくてくロード」整備事業（案内板設置）



救命講習の実施



子育て支援センター



中学校駅伝競走大会

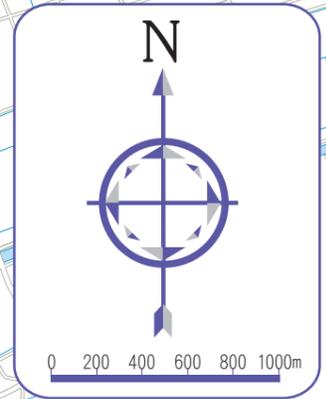
平成20年度龍ヶ崎市主要事業マップ



AED AED(自動対外式除細動器) 配備状況

平成20年度新規配備
 ・全小学校(松葉小学校除く)

配備済み施設
 ・龍ヶ崎市役所(1階)
 ・保健センター
 ・さんさん館
 ・たつのこアリーナ
 ・たつのこフィールド
 ・湯ったり館
 ・総合福祉センター
 ・文化会館
 ・松葉小学校
 ・つぼみ園(城南中学校)



6 平成20年度施策別事業一覧

1 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

(単位:千円, %)

1 市民の健康づくり					
予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
71 在宅高齢者生活支援事業	17,451	20,659	△ 3,208	△ 15.53	元氣サロン「松葉館」運営 4,052 高齢者外出支援利用料助成 250 NPOやボランティア等の協力のもと、在宅高齢者等の生活・自立化支援等を行い、福祉活動等を推進す
83 健康づくり推進事業	5,023	4,874	149	3.06	定期健康診査(18~39歳の国民健康保険加入者) 4,153 食生活改善推進事業 450 健康診査や地域組織による食生活改善を通して、健康づくりを推進する。
89 老人保健事業	58,706	96,103	△ 37,397	△ 38.91	特定健康診査(尿酸) 1,050 がん検診 34,861 40歳以上を対象に総合的な保健事業を実施し、生活習慣病予防、心の健康づくり等に資する。 生活習慣病予防対策推進事業 672
113 都市公園管理費	71,940	65,918	6,022	9.14	健康の散歩道「てくてくロード」整備事業 案内板設置工事(5か所) 500 「はつらつ健康公園」整備事業 健康遊具設置工事(5か所) 5,000 公園施設の保守、修繕等を行い、市民の憩いの場である都市公園を快適かつ安全に保つ。
新 195 特定健康診査等事業	36,577	0	36,577	皆増	特定健康診査 29,309 特定保健指導 2,736 40歳から74歳を対象に健康診査を実施し、介護予防、生活習慣病予防等の健康づくりに資する。
195 人間ドック助成費	11,325	12,730	△ 1,405	△ 11.04	人間ドック助成金 10,225 脳ドック助成金 1,100 市民の健康保持及び増進を図るため、国民健康保険被保険者の人間ドック及び脳ドック受診の際の費用を助成する。
新 315 特定高齢者把握事業	5,645	0	5,645	皆増	生活機能評価 5,607 65歳以上を対象に生活機能評価を実施することにより、介護予防を必要とする者を選定する。
315 げんきあつぷ! 応援事業	7,101	5,159	1,942	37.64	元氣アップ!!貯筋講座 6,951 各地区公民館にて講座開催 32講座(H19:12講座) 食生活改善推進事業 150 元気で85歳を迎えることができるよう、高齢者を対象に、運動機能の低下予防や日常生活の改善を図る。
315 包括的支援事業	25,360	14,462	10,898	75.36	地域包括支援センター運営 22,894 包括的支援事業相談等 2,340 地域の高齢者へ継続的・包括的な支援を行い、介護予防サービス等の推進と調整を図る。
新 379 後期高齢者健康診査事業	4,869	0	4,869	皆増	後期高齢者健康診査 3,869 受診券作成、発送 821 75歳以上を対象に健康診査を実施し、介護予防、生活習慣病予防等の健康づくりに資する。
2 子育て世代の福祉の増進					
予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
73 医療福祉事業	376,062	365,024	11,038	3.02	医療福祉費 363,471 (就学前乳幼児マルフク所得制限撤廃分を含む。) 妊産婦、乳幼児、母子・父子家庭、重度心身障がい者の健康増進、生活の安定に資する。
73 出産費資金貸付事業	9,866	7,875	1,991	25.28	出産費資金貸付 9,866 国民健康保険被保険者の出産育児一時金支給対象者に対して、出産前に資金を貸し付けることにより、被保険者の経済的安定に資する。
75 児童扶養手当支給事業	301,282	299,661	1,621	0.54	児童扶養手当 300,750 父と生計を異にする児童を養育する家庭等に対して手当を支給し、生活の安定と自立の促進に資する。
75 放課後児童健全育成事業	74,236	61,049	13,187	21.60	小学校全校(13校)で実施 障がい児に対する指導員の加配 ※八原小・城内小児童増加による保育ルーム整備 生活、遊びを通じて、学校終了後の保護者不在児童の健全育成に資する。
75 子育てサポート利用料助成事業	2,910	3,018	△ 108	△ 3.58	500円×5,776回 (1回につき500円上限) ※障がい児については、小学校6年生まで拡充 疾病等で一時的に保育が困難となる場合に、NPOを活用したサービス利用料の一部を助成する。
77 次世代育成支援対策事業	2,279	387	1,892	488.89	子育てガイドブックの作成 441 次世代育成支援後期行動計画策定 1,800 (H20~21継続事業 総額 5,000) 子育てに関する総合的な情報を提供し、子育て環境の充実を図る。
77 子育て支援施設管理運営事業	49,847	51,376	△ 1,529	△ 2.98	子育て支援センター運営 6,752 指導員報酬 3,095 ※別途保育指導員1人増員 さんさん館用地取得 40,000(8年間総額 300,625) 就学前の母子を支援するため、安らぎと交流の場を提供する。
77 児童手当支給事業	572,122	575,267	△ 3,145	△ 0.55	児童手当 570,675 児童養育家庭に対する育児支援の強化に資する。

77	私立保育所運営費	661,801	532,725	129,076	24.23	私立保育所運営費負担金 661,801(拡充) (中央保育所の民営化スタート)
77	私立保育所保育助成事業	126,921	112,429	14,492	12.89	未満児・延長保育促進事業等 102,253 ※地域子育て支援事業の拡充 運営費補助 24,668 ※諸支出金 土地取得事業 しらはね保育園用地 23,207 (5年間総額 115,802)
83	医療対策事業	19,581	45,891	△ 26,310	△ 57.33	小児救急輪番制病院運営費 834 休日等緊急診療体制確保と地域中核病院の安定運営を図り、安心できる生活環境を整備する。
83	子育て相談事業	5,618	4,813	805	16.73	検診未受診者・要フォロー者訪問 1,718 こんには赤ちゃん事業(生後4ヶ月までの全戸訪問) 2,414 食育の推進(かるがも教室など) 120 3歳児検診時の相談・指導 72
129	幼稚園就園奨励事業	78,686	78,813	△ 127	△ 0.16	私立幼稚園就園奨励費 78,686 ※多子世帯への優遇措置の拡充
129	幼稚園振興助成事業	37,230	47,190	△ 9,960	△ 21.11	私立幼稚園施設整備事業 3,000 私立幼稚園等振興助成 31,230 第3子助成 5,000円/月に増額(H19:2,500円/月) 障がい児保育費 3,000
131	子育て学習事業	4,148	4,218	△ 70	△ 1.66	家庭教育指導員報酬 3,648 子育てセミナー等講師謝礼 250
131	子どもの居場所づくり事業	2,232	1,871	361	19.29	休日学校施設開放ボランティア謝礼 96 (松葉, 大宮, 川原代) プロジェクト「ときめき」(久保台, 城ノ内) 615 たつこの山管理棟 委託分 1,190
135	子ども読書活動推進事業	1,052	602	450	74.75	ブックスタート用図書購入 493 子ども読書活動推進イベント開催 9 児童図書用書架購入 550

2 豊かな心と創造性をはぐくむまちづくり

1 学校教育の充実

予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
121 学校指導費	18,956	19,960	△ 1,004	△ 5.03	障がい児就学介助 1,119円×16,800時間 対象児童(見込) 16人(H19 15人)
	学校経営等の指導助言及び障がい児対策などにより、学校教育の充実を図る。				
121 語学指導事業	24,316	29,177	△ 4,861	△ 16.66	語学指導助手 6人配置 語学指導スーパーバイザーの配置
	語学指導助手を学校に派遣し、児童生徒の語学力の向上と国際理解を深める。				
121 チームティーチング特別配置事業	11,282	9,453	1,829	19.35	チームティーチング非常勤講師配置 1,740円×25時間×35週×7人
	教員免許所持者等の公募者を学校へ派遣し、よりきめ細やかな個に応じた教育を展開する。				
123 魅力ある学校・地域づくり推進事業	11,000	11,500	△ 500	△ 4.35	魅力ある学校・地域づくり推進事業 特色ある学校づくり 地域ネットワーク(小・小中・地域連携) 地域人材活用
	学校の自主的な創意工夫により特色ある学校づくりを進めるとともに、地域の人材を招き幅広い学習を行うことで、地域の理解と愛着を深める。				
123 少人数指導推進事業	27,404	27,490	△ 86	△ 0.31	非常勤講師 1,740円×28時間×34週×16人
	学力の向上を図るため、非常勤講師を小学校に配置し、少人数学習及び習熟度別学習等を推進する。				
123 いきいき龍の子育て推進事業	700	700	0	-	イベント開催交付金 700
	学校・家庭・地域社会の連携のもと教育の重要性を再認識する機会を設け、明日の龍ヶ崎を担う子どもたちを育てる。				
123 教育センター活動費	16,186	16,224	△ 38	△ 0.23	教育相談員報酬 14,700 平均 6人配置
	相談事業・適応指導教室運営等の教育センター活動を通じて児童生徒の健全な育成に資する。				
123 さわやか相談員派遣事業	4,873	4,763	110	2.31	小学校 さわやかボランティア相談員 1,250円×週1回×4週×11月×18人(H19:1,000円/日) 中学校 さわやか相談員 1,000円×4時間×4日×40週×6校
	相談員を小中学校に派遣し、児童生徒の悩みや不安の緩和や解消に努め、その健全な育成に資する。				
125 小学校教育振興費	74,063	76,454	△ 2,391	△ 3.13	学校図書館司書配置 900円×5時間×5日×35週×13人 図書購入費 10,048(H19 11,480)
	学校図書館司書の配置や教材・学校備品の充実を図り、教育環境の向上に資する。				
127 小学校施設整備事業	21,000	24,000	△ 3,000	△ 12.50	小学校消防設備改修工事 4,286 長戸小学校屋上・外壁改修工事 7,790 小学校改修工事(総量) 7,924
	小学校施設の整備改修等を行い、安全で快適な教育環境を提供する。				

127	馴染小学校改築事業	434,182	1,004,473	△ 570,291	△ 56.78	屋内運動場改築《国庫補助事業》 工事監理 14,553 改築工事 416,882
						老朽化した馴染小学校校舎等の全面改築を行い、安全で快適な教育環境を提供する。
127	中学校管理費	110,908	117,688	△ 6,780	△ 5.76	中学校教育用コンピュータ更新 8,820 (5年間総額 75,600) ※市民の安心・安全の確保 緊急情報メール配信【ゼロ的予算事業】
						学校施設・設備の保守・修繕や学校備品の購入等を行い、教育環境の充実を図る。
129	中学校教育振興費	41,997	44,031	△ 2,034	△ 4.62	学校図書館司書配置 900円×5時間×5日×35週×6人 図書購入費 6,313(H19 7,154)
						学校図書館司書の配置や、教材・学校備品の充実を図り、教育環境の向上に資する。
129	中学校施設整備事業	61,021	62,500	△ 1,479	△ 2.37	中根台中学校グラウンド改修工事実施設計 3,000 中根台中学校グラウンド改修工事 50,000 中学校消防設備改修工事 3,233 中学校改修工事(総量) 4,767
						中学校施設の整備改修等を行い、安全で快適な教育環境を提供する。

2 スポーツ健康都市づくり

予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
53 地域振興事業	2,602	3,199	△ 597	△ 18.66	龍・流連携事業【チャレンジ事業】 龍・流連携市民講座 60 小中学校サポート事業 11 大学運動部応援経費 45 龍・流カップ開催 136
					流通経済大学をはじめ、市内に散在する既存の資源を活かしながらまちの活性化を図る。
113 総合運動公園建設事業	504,943	578,792	△ 73,849	△ 12.76	野球場等建設 工事監理 4,000 建設工事 500,000《国庫補助事業》
					増大多様化する余暇需要に応えるとともに、市民の体力増進や健康維持に寄与する。
137 社会体育事務費	1,481	1,546	△ 65	△ 4.20	スポーツ振興基本計画策定【チャレンジ事業】 アドバイザー謝礼 100
					スポーツ健康都市宣言に基づき、市民の健康増進・体力づくり及びスポーツの普及・振興を促進する。
137 体育振興活動費	6,850	7,102	△ 252	△ 3.55	卓球タイム・バウンドテニス教室等講師謝礼 332 横断幕等作成用品整備 630【チャレンジ事業】 スポーツ振興活性化事業 3,950 (フェスティバル、スポレクまつり、指導者育成、大会・教室開催) スポーツ指導者派遣事業 900 中学校駅伝競走大会開催
					スポーツ教室や各種大会の開催などを通して、市民の健康増進及びスポーツ振興に資する。
137 たつのこアリーナ管理運営費	161,598	161,552	46	0.03	スポーツ教室(エアロビクス、アクアビクス、ヨーガ教室等) 4,015 幼児一時預かり事業 1,977
					市民へ快適なスポーツ環境を提供するため、たつのこアリーナの適正な管理運営を行う。
139 たつのこフィールド管理運営費	13,412	12,801	611	4.77	体育施設維持管理(夜間・休日受付、除草等) 2,189 芝管理用機器整備 6,200【チャレンジ事業】
					市民へ快適なスポーツ環境を提供するため、たつのこフィールドの適正な管理運営を行う。

3 安心・安全に暮らせるまちづくり

1 災害に強いまちづくり

予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
117 消防施設等管理費	10,408	4,731	5,677	120.00	消火栓維持管理負担金 6,000 消火栓管理用消耗品 120【チャレンジ事業】
					消防施設を適切に維持管理し、消防活動に備える。
117 消防施設整備事業	5,450	4,526	924	20.42	消防ホース乾燥塔設置工事 900 消火栓設置工事(8か所) 4,000 《うち1か所 まちづくり交付金事業》
					消防施設の整備により、消防力強化を図る。
117 防災活動費	12,749	13,481	△ 732	△ 5.43	AED(自動体外式除細動器)の配備 3,402 各小学校分 12台 救命講習実施【ゼロ的予算事業】
					防災基盤を整備し、災害に強いまちづくりに資する。
119 防災訓練費	1,685	8,810	△ 7,125	△ 80.87	総合防災訓練の実施
					防災訓練の実施により、防災関係機関・市民との連携強化を図り、防災対策に万全を期す。
119 自主防災組織活動育成事業	1,877	1,050	827	78.76	自主防災組織結成事業 100,000円×2組織 自主防災組織資機材整備事業 400,000円×3組織 防災士養成事業 400 自主防災連合会の設立(講演会開催、テキスト配布) 77
					自主防災組織を育成し、災害等の初動活動に備える。

2 市民の安心・安全の確保

予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
55 防犯活動費	9,063	9,247	△ 184	△ 1.99	防犯サポーター報酬 6,324 2人×3班体制
					市民の安全を守るため、犯罪抑止及び防犯意識の高揚を図る。
55 防犯灯整備事業	5,200	4,700	500	10.64	防犯灯設置工事(総量) 3,600 防犯灯修繕(総量) 1,500
					市民の安全と犯罪の防止に資するため、計画的に防犯灯を設置する。

69	障がい者地域生活支援事業	59,977	35,061	24,916	71.06	地域活動支援センター整備事業 実施設計 2,000 工事監理 800 整備工事 17,200
		障がい者の日常生活に必要なサービスを提供し、福祉の向上に資する。				
71	在宅高齢者生活支援事業(再掲)	17,451	20,659	△ 3,208	△ 15.53	ひとり暮らし高齢者愛の定期便事業 2,690 緊急通報システム整備 40台 2,369
		NPOやボランティア等の協力のもと、在宅高齢者等の生活・自立化支援等を行い、福祉活動を推進す				
83	医療対策事業(再掲)	19,581	45,891	△ 26,310	△ 57.33	病院群輪番制病院運営費 9,186 休日緊急診療 9,360
		休日等緊急診療体制確保と地域中核病院の安定運営を図り、安心できる生活環境を整備する。				
85	疾病予防費	70,845	68,849	1,996	2.90	中一・高三麻しん・風しん混合予防接種 7,041 おたふくかぜ予防接種助成 1,600
		安全な予防接種の実施と市民への啓発を行い、感染症の発生とまん延の予防に努める。				
103	建築指導事務費	6,470	3,353	3,117	92.96	防災マップ作成 6,300 揺れやすさマップ・地域の危険度マップ 耐震改修促進計画策定【ゼロの予算事業】
		各種建築物にかかる指導を行い、都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、住みよい住環境に寄与する。				
105	交通安全施設整備事業	12,000	10,000	2,000	20.00	交通安全施設工事(総量) 12,000
		市民に安全な道路環境を提供し、交通事故の撲滅を図る。				
107	市道第2-237号線整備事業	29,472	59,275	△ 29,803	△ 50.28	流経大下歩道整備《地方道路整備臨時交付金事業》
		まちの経営資源である流通経済大学の通学路を整備し、大学周辺の環境整備を図る。				
107	市道第Ⅱ-7号線整備事業	49,026	70,095	△ 21,069	△ 30.06	川原代小学校通学路整備《地方道路整備臨時交付金事業》
		川原代小学校の通学路を整備し、安全な通学環境の整備を図る。				
115	市営住宅管理費	10,061	9,762	299	3.06	手すり設置工事 4,800《地域住宅交付金事業》 富士見住宅給水設備改修工事実施設計 630
		低廉な家賃で住宅を賃貸し、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。				
125	小学校管理費	192,275	200,575	△ 8,300	△ 4.14	全小学校遊具点検 1,235 緊急情報メール配信【ゼロの予算事業】
		学校施設・設備の保守・修繕や学校備品の購入等を行い、教育環境の充実を図る。				
139	学校給食運営費	551,257	532,667	18,590	3.49	給食食器トレーの更新 5,900
		安全で栄養のあるおいしい給食を提供することにより、成長期にある児童生徒の健全育成に寄与する。				
359	児童デイサービス事業	10,244	9,696	548	5.65	開園時間の延長(1時間延長:18時まで) 保育指導員1人増員
		つぼみ園において心身の発達に何らかの問題を持つ児童に対し、療育指導や訓練等を行う。				

4 機能的で、やすらぎのあるまちづくり

1 交通ネットワークの形成					
予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
53 コミュニティバス運行事業	45,506	81,221	△ 35,715	△ 43.97	情報用車内モニター整備 900【チャレンジ事業】 循環ルート運行補償 14,941 ABCDEルート運行補償 29,497
	市街地間の交通手段を確保し、交通弱者等の利便性の向上を図るとともに、市民の相互交流に資する。				
55 公共交通対策費	7,727	217	7,510	3,460.83	路線バス昼間割引運賃補償 3,500 鉄道近代化設備整備費(関東鉄道パス導入)補助 4,000
	都市間の交通手段を確保し、市民の利便性の向上を図る。				
107 道路改良事業	240,800	190,700	50,100	26.27	市道第5-318号線整備工事 72,000《まちづくり交付金事業》 道路改良工事(総量) 150,000 道路補修工事(総量) 15,000
	地区間道路の改良のほか、生活道路を中心に、幅員拡幅及び側溝整備等を実施する。				
111 下地内・八代線改良事業	69,146	49,298	19,848	40.26	大徳地区(地方特定道路整備事業) 街路改良工事 63,000
	上大徳新町地内と主要道路龍ヶ崎潮来線を結ぶ道路を整備し、市街地活性化の促進及び地域住民の利便性の向上並びに交通の円滑化を図る。				

5 人を愛し、まちを愛し、誇れるまちづくり

1 地域資源の活用					
予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
53 地域振興事業(再掲)	2,602	3,199	△ 597	△ 18.66	NHKのど自慢開催 750
	流通経済大学をはじめ、市内に散在する既存の資源を活かしながらまちの活性化を図る。				
101 観光物産事業	9,297	12,463	△ 3,166	△ 25.40	牛久沼水辺公園景観整備事業【チャレンジ事業】 花苗、種、肥料購入 500
	市の活性化を目的として、関連団体との協力のもと観光事業を展開し、龍ヶ崎市の知名度アップを図る。				

133 国民文化祭開催事業	8,000	182	7,818	4,295.60	国民文化祭「食の祭典」の開催 国民文化祭において食の祭典を開催し、市の活性化及び知名度アップを図る。

6 リーディングプロジェクト

予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
113 都市公園管理費(再掲)	71,940	65,918	6,022	9.14	■健康の散歩道「てくてくロード」整備事業 案内板整備工事(5か所) 500 ■「はつらつ健康公園」整備事業 健康遊具設置工事(5か所) 5,000
89 老人保健事業(再掲)	58,706	96,103	△ 37,397	△ 38.91	■たばこ対策事業 禁煙指導教材セット等購入 70 【チャレンジ事業】
131 子どもの居場所づくり事業(再掲)	2,232	1,871	361	19.29	■プロジェクト「ときめき」 遊びのマイスター、サポーター報酬等 615
55 防犯活動費(再掲)	9,063	9,247	△ 184	△ 1.99	■防犯まちづくり連携事業 キャンペーングッズ購入 100
103 建築指導事務費(再掲)	6,470	3,353	3,117	92.96	■防災ハザードマップ作成事業 防災マップ作成 6,300 揺れやすさマップ・地域の危険度マップ 耐震改修促進計画策定 【ゼロの予算事業】
91 ごみ減量促進費	104,738	106,745	△ 2,007	△ 1.88	■エコスタイル推進事業 ごみリサイクルちらし・冊子作成 517 外国人用ごみリサイクルちらし作成 550 マイバック普及事業(レジかごバック500個) 263 ごみ減らし隊研修会等経費 163 【チャレンジ事業】
53 コミュニティバス運行事業(再掲)	45,506	81,221	△ 35,715	△ 43.97	■「チャリステ」整備事業 「チャリステ」表示ステッカー購入 50
99 市街地活性化施設整備事業	55,021	107,200	△ 52,179	△ 48.67	■にぎわい広場の整備・活用 にぎわい広場整備事業《まちづくり交付金事業》 工事監理 3,500 整備工事 51,500
101 観光物産事業(再掲)	9,297	12,463	△ 3,166	△ 25.40	■牛久沼ルネッサンス 牛久沼水辺公園景観整備事業 【チャレンジ事業】 花苗、種、肥料購入 500

7 施策推進のために

1 未来に向けた計画・人材づくり

予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
43 職員研修費	5,322	5,918	△ 596	△ 10.07	人事評価制度研修 2,940 接遇研修 589 カウンセリングマインド研修等 623
45 男女共同参画推進費	1,392	1,350	42	3.11	男女共同参画プラン策定 767 男女がともに性別にとらわれることなく、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。
47 広報広聴活動費	31,135	22,421	8,714	38.87	市公式ホームページ更新 7,000 広報ボランティア事業 3
49 企画調整事務費	26,885	22,949	3,936	17.15	市民まちづくりアンケート調査 1,633 各種課題を把握、研究し、政策、事業の総合調整を図る。
67 地域福祉計画策定費	577	2,177	△ 1,600	△ 73.50	ワークショップの開催(6地区) 577 地域福祉計画の策定により、地域福祉の推進を図る。
新 障がい福祉計画等改定費	2,100	0	2,100	皆増	障がい福祉計画等改定 2,100 (H19~20継続事業 総額 2,700 (H19.12月補正予算))
新 高齢者保健福祉計画等改定費	1,400	0	1,400	皆増	高齢者保健福祉計画等改定 1,400 (H19~20継続事業 総額 1,900 (H19.12月補正予算))
77 次世代育成支援対策事業(再掲)	2,279	387	1,892	488.89	次世代育成支援後期行動計画策定 1,800 (H20~21継続事業 総額 5,000) 子育てに関する総合的な情報を提供し、子育て環境の充実を図る。

91	塵芥処理費	1,544,507	1,546,256	△ 1,749	△ 0.11	ごみ処理基本計画策定 ※塵芥処理組合予算に計上 事業費総額7,350(H19, H20) H20龍ヶ崎市負担額 2,388
137	社会体育事務費 (再掲)	1,481	1,546	△ 65	△ 4.20	スポーツ振興基本計画策定【チャレンジ事業】 アドバイザー謝礼 100
219	下水道事務費	36,434	30,499	5,935	19.46	下水道事業再評価 2,205 公共下水道の普及促進を図り、生活環境及び公衆衛生の向上に資する。
2 広域行政の推進, 行政運営の効率化						
	予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
45	契約事務費	3,895	890	3,005	337.64	入札参加資格電子申請システム構築 1,663 契約システム等リース(更新分) 712(5年間総額 14,238)
51	住民情報基幹系システム運用費	160,707	85,879	74,828	87.13	住民情報基幹系システム 運用 30,000 保守 24,319 システム等リース 94,445(5年間総額 472,223) IT アドバイザー 4,725
59	戸籍事務費	26,886	3,625	23,261	641.68	戸籍システム(新) 構築 3,780 保守 1,806 システム等リース 18,317(5年間総額 156,996)
73	後期高齢者医療事業	13,772	15,115	△ 1,343	△ 8.89	後期高齢者医療システム 運用 6,080 機器保守 133 システム等リース 7,559(5年間総額 37,794)
89	老人保健事業 (再掲)	58,706	96,103	△ 37,397	△ 38.91	健康管理システム 保守(更新分) 2,342 システム等リース(更新分) 4,427(5年間総額 35,504) 関連システム修正 3,700
3 主な社会資本の整備						
	予算書掲載ページ・事業名	20年度	19年度	前年比較	増減率	重点事業の概要
87	斎場管理運営費	45,425	45,935	△ 510	△ 1.11	改修工事実施設計 6,000 空調設備工事 6,300 龍ヶ崎市営斎場の適切な管理運営により、市民の利便性の向上に資する。
97	土地改良整備事業	59,579	72,712	△ 13,133	△ 18.06	県営農農道整備事業負担金(板橋・伊佐津線) 20,449 ほ場整備等県営事業負担金(板橋・大塚地区, 塗戸地区, 大徳・宮淵地区) 35,874
107	道路改良事業 (再掲)	240,800	190,700	50,100	26.27	市道第5-318号線整備工事 72,000《まちづくり交付金事業》 道路改良工事(総量) 150,000 道路補修工事(総量) 15,000
107	市道第2-237号線整備事業 (再掲)	29,472	59,275	△ 29,803	△ 50.28	流经大下歩道整備《地方道路整備臨時交付金事業》 まちの経営資源である流通経済大学の通学路を整備し、大学周辺の環境整備を図る。
107	市道第Ⅱ-7号線整備事業 (再掲)	49,026	70,095	△ 21,069	△ 30.06	川原代小学校通学路整備《地方道路整備臨時交付金事業》 川原代小学校の通学路を整備し、安全な通学環境の整備を図る。
109	排水路整備事業	79,328	51,128	28,200	55.16	排水路整備工事(総量) 43,000 冠水対策(南中島地区) 排水路整備・ポンプ場整備工事実施設計 2,500 排水路整備・ポンプ場整備工事 20,000 関東鉄道龍ヶ崎線排水路整備工事負担金 6,300
115	市営住宅管理費 (再掲)	10,061	9,762	299	3.06	手すり設置工事 4,800《地域住宅交付金事業》 富士見住宅給水設備改修工事実施設計 630
133	公民館管理費	105,199	97,915	7,284	7.44	馴染公民館空調設備工事 15,000 長戸地区公民館下水道接続工事 2,000 地域住民の交流の場としてコミュニティの形成に努め、生涯学習の推進と市民生活の向上を図る。
135	文化会館管理運営費	193,745	195,397	△ 1,652	△ 0.85	空調・舞台照明・音響改修工事 44,000 文化会館の管理運営を行い、市の文化芸術の発展に資する。
221	公共下水道補助整備事業	113,500	67,720	45,780	67.60	管渠布設工事実施設計 16,000 枝線管渠布設工事 95,000 下水道を整備し、水質保全を図り、公衆衛生の向上に資する。
221	公共下水道単独整備事業	88,521	110,497	△ 21,976	△ 19.89	管渠布設工事実施設計 8,000 管渠布設工事実施設計(姫宮川余郷線) 6,000 枝線管渠布設工事(総量) 70,000 下水道を整備し、水質保全を図り、公衆衛生の向上に資する。

7 主な事業の内容と財源の内訳

個別のサービスなどにどのくらいの経費がかかっているのか。そして、その財源は？市の負担や利用者の負担はどうなっているのだろうか？

◎公共施設の管理運営の内容とその経費の内訳を紹介します。

公立・私立保育所の運営

主な経費(使い道)

公立保育所(3園)の管理運営

●職員の給与等	3億405万円
●臨時保育士等の賃金等	1,282万円
●管理運営経費	2,518万円
●施設整備費	500万円

私立保育所等(8園)の管理運営

●運営負担金	6億6,180万円
●運営補助金	1億2,692万円

財源内訳

●国の負担額	2億753万円
●県の負担額	1億2,287万円
●保育料等収入	2億2,140万円
●職員の給食費	243万円
●市の負担額	5億8,154万円



たつのこアリーナ・フィールドの管理運営

主な経費(使い道)

たつのこアリーナの管理運営

●職員の給与費等	2,228万円
●管理嘱託職員の報酬	350万円
●施設管理費	1億5,408万円
●教室等運営費	402万円

たつのこフィールドの管理運営

●職員の給与費等	1,264万円
●施設管理費	691万円
●備品等整備費	650万円

財源内訳

●使用料等収入	6,287万円
●市の負担額	1億4,706万円

◎公共施設整備事業の内容とその経費の内訳を紹介します。

市街地活性化施設整備事業

主な経費(使い道)

にぎわい広場整備事業

●工事監理委託費	350万円
●広場整備工事	5,150万円
●その他	2万円

財源内訳

●国からの交付金	2,200万円
●市債(借金)	2,470万円
●市の負担額	832万円





馴柴小学校改築事業

主な経費(使い道)

馴柴小学校屋内運動場改築事業

- 工事補償調査委託費 129万円
- 工事監理委託費 1,455万円
- 屋内運動場改築工事 4億1,688万円
- 補償費 90万円
- その他 56万円

財源内訳

- 国からの負担金・交付金 7,786万円
- 市債(借金) 2億8,310万円
- 基金(預金)の取崩し 7,300万円
- 市の負担額 22万円

総合運動公園建設事業

主な経費(使い道)

野球場等建設事業

- 工事監理委託費 400万円
- 野球場等建設工事 5億円
- その他 94万円

財源内訳

- 国からの補助金 2億5,000万円
- 市債(借金) 2億2,500万円
- 基金(預金)の取崩し 2,917万円
- 市の負担額 77万円



市道第Ⅱ-7号線改良事業

主な経費(使い道)

川原代小学校通学路整備事業

- 不動産鑑定, 登記委託費 96万円
- 補償調査委託費 14万円
- 道路改良工事 1,500万円
- 用地取得費 2,960万円
- 補償費 277万円
- その他 56万円

財源内訳

- 国からの交付金 2,640万円
- 市の負担額 2,263万円

8 平成20年度市民一人あたりの予算

平成20年度市民一人あたりの予算(一般会計)は、272,141円です。

民生費

子育て支援とともに、障がいをもっている人やお年寄りのために

71,552円



教育費

学校教育や青少年育成、文化・スポーツ振興のために

45,217円



公債費

市債(借金)の返済のために

37,837円



総務費

コミュニティ活動の充実と効率的な行政運営のために

33,850円



衛生費

健康づくりの推進や環境を守るために

30,311円



土木費

生活道路や公園整備のために

28,094円



消防費

消防力の強化と防災体制の充実のために

12,162円



農林水産業費

地域の特性を活かした農業振興のために

6,447円



商工費・議会費など

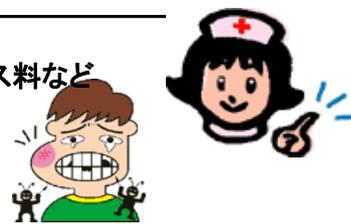
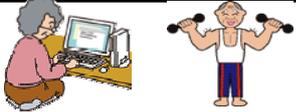
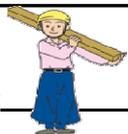
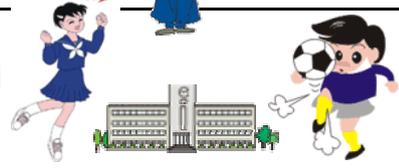
商店街のにぎわい創出や企業の発展、雇用創出のために
市政運営チェックのために

6,671円



(注) 各項目の数値は、予算額を平成20年1月1日現在の人口(79,275人)で除したものです。

9 一般会計を家計にたとえると

収 入	支 出
基本給 382万円 	生活費 (総務費, 議会費, 165万円 
ボーナス 91万円 	医療費, 介護サービス料など 200万円 
両親からの生活費 91万円 	ごみの処分, 健康診断など 85万円 
お母さんのパート収入 106万円 	家のリフォーム 78万円 
ローン借入(市債) 53万円 預金解約(基金繰入) 36万円 	教育費 126万円 
	ローン支払 105万円 

収入・支出合計	759万円
預金(基金)残高	99万円
ローン(市債)残高	1,000万円

龍ヶ崎市の一般会計を40代のサラリーマン世帯に置き換えてみました。

市民サービス株式会社で営業課長として頑張る龍ヶ崎さん。妻と子ども2人と両親の6人家族です。今年こそ、みんなで温泉旅行に行きたいと考えているのですが、なかなかやりくりが大変です。

龍ヶ崎家の収入は、お父さんの基本給(市税)が382万円、昇給や親会社からの手当が直接支払われるようになった(税源移譲)ため、去年より増えました。しかしボーナス(地方交付税)は毎年下がっていて91万円となる見込みです。同居している両親から生活費(国県支出金)として91万円もらっていますが、いつまでもあてにはできません。そこで、お母さんも頑張って働いてパート収入が106万円、合計で670万円の収入を見込んでいます。

一方、支出ですが、家族で節約はしているのですが、食料品や燃料費が値上りするなど普段の生活費(総務費など)が165万円、介護サービス利用料や医療費(民生費)で200万円、ごみの処分や生活習慣病検診(衛生費)に85万円と増える一方です。そのほか、先延ばしにしていた家の外壁のリフォーム(土木費)に78万円、高校に入学したお姉ちゃんの施設整備費(馴染小学校改築事業)や、弟の学習塾の月謝(小中学校費)などで教育費は126万円となっています。家のローン(公債費)105万円も支払わなければなりませんし、合計で759万円です。

不足分はリフォームローン(市債)を申し込んで53万円を借りることにしましたが、まだ足りないので預金を36万円解約(基金繰入)することになりました。ローン残高(市債残高)が1,000万円もあるので、将来に備え少し貯金もしておかなければならないのですが、預金残高(基金残高)は99万円でなかなか増やすことができません。

厳しい状況ですが、家族全員の協力でなんとか乗り切るつもりです。頑張れ！龍ヶ崎家！！

10 各会計の状況

(1) 一般会計

一般会計予算の状況及び主な増減要因は、第1表(歳入)及び第2表(歳出)のとおりです。また、歳出予算を支出経費の経済的性質に基づき分類した「歳出の性質別の状況」は、第3表のとおりです。

第1表 歳入の状況

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
1 市税	10,869,004	10,580,606	288,398	2.7	
1 市民税	5,442,651	5,217,880	224,771	4.3	【増収要因】 個人均等割現年6,399 個人所得割現年224,004
2 固定資産税	4,189,265	4,139,006	50,259	1.2	【増収要因】 家屋現年78,042 償却資産現年41,649 【減収要因】 土地現年△55,508
3 軽自動車税	103,106	91,789	11,317	12.3	【増収要因】 課税台数増
4 市たばこ税	485,000	483,500	1,500	0.3	
5 特別土地保有税	2	2	0	-	
6 都市計画税	648,980	648,429	551	0.1	【増収要因】 家屋現年15,351 【減収要因】 土地現年△13,101
2 地方譲与税	365,500	367,000	△ 1,500	△ 0.4	【減収要因】 地方道路譲与税△2,500
3 利子割交付金	57,200	39,200	18,000	45.9	【増収要因】 預貯金利率の上昇による
4 配当割交付金	59,300	34,900	24,400	69.9	
5 株式等譲渡所得割交付金	30,100	48,400	△ 18,300	△ 37.8	
6 地方消費税交付金	647,000	670,000	△ 23,000	△ 3.4	
7 ゴルフ場利用税交付金	55,000	55,000	0	-	
8 自動車取得税交付金	134,300	160,000	△ 25,700	△ 16.1	
9 地方特例交付金	117,400	76,900	40,500	52.7	【増収要因】 減収補てん特例交付金58,300(新規) 【減収要因】 特別交付金△15,600
10 地方交付税	2,585,000	2,726,000	△ 141,000	△ 5.2	
1 普通交付税	2,185,000	2,326,000	△ 141,000	△ 6.1	【減収要因】 公債費(事業費補正)の減 税収(地財計画上)の伸び 【増収要因】 地方再生対策費103,518(新規)
2 特別交付税	400,000	400,000	0	-	
11 交通安全対策特別交付金	18,000	18,000	0	-	

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
12 分担金及び負担金	263,351	297,213	△ 33,862	△ 11.4	【減収要因】 病院群輪番制病院運営費 △21,900(牛久市へ幹事移管) 小児救急輪番制病院運営費 △1,758(牛久市へ幹事移管) 保育所運営費徴収金公立分△29,799 【増収要因】 保育所運営費徴収金私立分17,931
13 使用料及び手数料	394,913	401,636	△ 6,723	△ 1.7	【減収要因】 農業公園湯ったり館使用料△802 たつのこアリーナ使用料△3,954 住民証明手数料△4,525 【増収要因】 斎場使用料922 たつのこフィールド使用料977
14 国庫支出金	1,650,005	1,856,533	△ 206,528	△ 11.1	【減収要因】 馴柴小学校整備事業負担金△66,258 馴柴小学校整備事業交付金 △85,406 まちづくり交付金(コミュニティバス分) △20,880 地方道路整備臨時交付金△53,350 【増収要因】 保育所運営費私立分47,522
15 県支出金	939,127	887,279	51,848	5.8	【増収要因】 後期高齢者医療保険基盤安定分 45,330(新規) 保育所運営費私立分23,761 障害者自立支援特別対策事業費 22,308 地域子育て支援拠点事業11,334 【減収要因】 経営構造対策事業費△19,528 参議院議員選挙費△26,742
16 財産収入	24,903	16,804	8,099	48.2	【増収要因】 土地貸付収入837 基金利子(利率上昇による)7,222
17 寄附金	200	300	△ 100	△ 33.3	【減収要因】 レジ袋売上収入寄付金△100
18 繰入金	1,013,106	1,472,101	△ 458,995	△ 31.2	【減収要因】 減債基金△450,000 総合運動公園施設整備基金△61,527 義務教育施設整備基金△147,000 【増収要因】 地域振興基金150,000 財政調整基金50,000
19 繰越金	150,000	150,000	0	-	
20 諸収入	701,291	697,028	4,263	0.6	【増収要因】 医療福祉高額療養費等納付金39,259 【減収要因】 給食費負担金△6,061 健康診査受診者負担金△7,079 雑草除去受託料△2,400 道路改修費負担金△12,500
21 市債	1,499,300	1,711,100	△ 211,800	△ 12.4	【減収要因】 馴柴小学校整備事業債△269,800 臨時財政対策債△44,000 県土地改良事業債△20,200 まちづくり交付金事業債(コミュニティバス分)△15,700 【増収要因】 臨時地方道整備事業債142,500
歳入合計	21,574,000	22,266,000	△ 692,000	△ 3.1	

第2表 歳出の状況

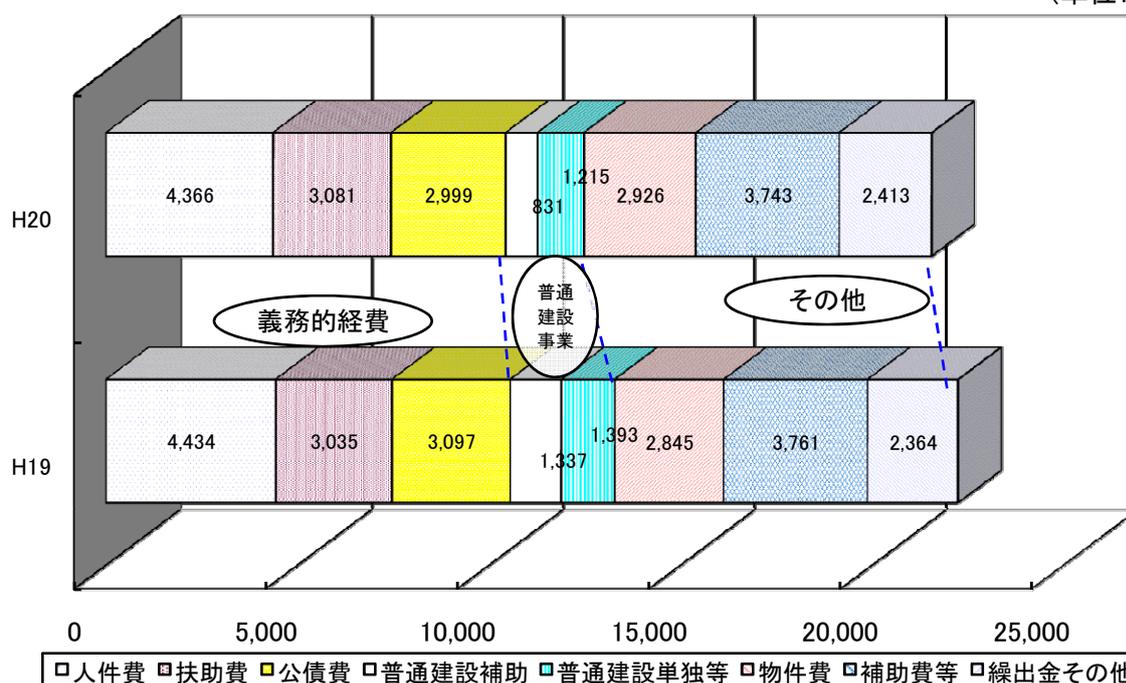
(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
1 議会費	244,826	255,982	△ 11,156	△ 4.4	【減額要因】 費用弁償△1,794(廃止) 職員給与費△10,147
2 総務費	2,683,506	2,601,634	81,872	3.1	【増額要因】 公式ホームページ更新7,000(新規) 住民情報基幹系システム運用費74,828 減債基金積立金26,337 鉄道近代化設備整備費4,000(新規) 土地・家屋評価推進事業10,845 戸籍システム構築費23,903(新規) 【減額要因】 コミュニティバス運行事業(バス購入等) △35,715 自治組織関係経費△13,094 賦課事務費(不動産鑑定等)△11,616 参議院議員選挙費△26,842 市議会議員選挙費△23,646 選挙運動公費負担事業△24,490
3 民生費	5,672,258	5,419,260	252,998	4.7	【増額要因】 障がい者福祉費41,615 介護保険事業特別会計繰出金33,053 後期高齢者医療事業特別会計繰出金 434,912(新規) 医療福祉事業11,038 放課後児童健全育成事業13,187 私立保育所運営費負担金129,076 私立保育所保育助成事業14,492 【減額要因】 社会福祉協議会助成費△9,281 老人保健事業特別会計繰出金 △338,885 公立保育所管理運営費△66,730
4 衛生費	2,402,884	2,450,399	△ 47,515	△ 1.9	【減額要因】 病院群輪番制病院運営費△21,930 小児救急輪番制病院運営費△3,831 老人保健事業△37,397 塵芥処理組合運営費負担金△9,052 【増額要因】 母子保健事業10,312 疾病予防費4,996
5 労働費	22,923	23,400	△ 477	△ 2.0	【減額要因】 市シルバー人材センター運営費△491
6 農林水産業費	511,061	572,911	△ 61,850	△ 10.8	【減額要因】 経営構造対策事業△19,528(終了) 農業公社運営費△3,743 土地改良整備事業△13,133 生産調整推進対策事業△13,365 【増額要因】 農業ヘルパー制度支援事業500(新規)
7 商工費	226,990	284,174	△ 57,184	△ 20.1	【減額要因】 市街地活性化対策費△3,357 市街地活性化施設整備事業△52,179 中小企業事業資金制度信用保証料補 給金△3,000

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率	主な増減要因・増減額
8 土木費	2,227,156	2,391,933	△ 164,777	△ 6.9	【減額要因】 総合運動公園建設事業△73,849 市道第2-237号線整備事業△29,803 市道第Ⅱ-7号線整備事業△21,069 都市計画マスタープラン策定費 △6,027(終了) 工業団地拡張事業検討調査 △3,850(終了) 公共下水道事業特別会計繰出金 △126,870 【増額要因】 防災マップ作成6,300(新規) 交通安全施設整備事業2,000 道路改良事業(単独)50,100 排水路整備事業28,200 地下内・八代線改良事業19,848 健康遊具等設置工事6,000
9 消防費	964,144	962,879	1,265	0.1	【増額要因】 広域市町村圏事務組合消防費1,427 消防団活動費665 消火栓維持管理負担金5,900 自主防災組織活動育成事業827 【減額要因】 防災訓練費△7,125
10 教育費	3,584,577	4,170,874	△ 586,297	△ 14.1	【減額要因】 語学指導事業△4,861 馴柴小学校改築事業△570,291 幼稚園振興助成事業△9,960 青年の家解体工事負担金 △10,058(終了) 学校給食費(調理員減など)△77,321 【増額要因】 チームティーチング特別配置事業1,829 都市再生機構中学校償還金47,490 馴柴公民館空調整備工事15,000
11 公債費	2,999,510	3,097,490	△ 97,980	△ 3.2	【減額要因】 元金償還費△53,395 利子償還費△44,584
12 諸支出金	25,618	24,308	1,310	5.4	【増額要因】 土地開発基金繰出金(利子分)1,333
13 予備費	8,547	10,756	△ 2,209	△ 20.5	
歳出合計	21,574,000	22,266,000	△ 692,000	△ 3.1	

第3表 歳出の性質別の状況

(単位:百万円)



(単位:千円, %)

区 分	平成20年度		平成19年度		比較	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
義務的経費	10,446,165	48.4	10,566,112	47.5	△ 119,947	△ 1.1
人件費	4,366,003	20.2	4,433,704	19.9	△ 67,701	△ 1.5
扶助費	3,080,811	14.3	3,035,078	13.7	45,733	1.5
公債費	2,999,351	13.9	3,097,330	13.9	△ 97,979	△ 3.2
普通建設事業費	2,046,118	9.5	2,729,291	12.2	△ 683,173	△ 25.0
補助事業費	831,205	3.8	1,336,596	6.0	△ 505,391	△ 37.8
単独事業費	1,157,738	5.4	1,324,637	5.9	△ 166,899	△ 12.6
県営事業負担金	56,323	0.3	66,940	0.3	△ 10,617	△ 15.9
受託事業費	852	0.0	1,118	0.0	△ 266	△ 23.8
その他	9,081,717	42.1	8,970,597	40.3	111,120	1.2
物件費	2,926,043	13.6	2,844,720	12.8	81,323	2.9
維持補修費	184,405	0.9	182,264	0.8	2,141	1.2
補助費等	3,742,825	17.3	3,761,181	16.9	△ 18,356	△ 0.5
(うち一部事務組合に対するもの)	2,431,726	11.3	2,472,338	11.1	△ 40,612	△ 1.6
繰出金	1,970,630	9.1	1,948,191	8.7	22,439	1.2
積立金等	257,814	1.2	234,241	1.1	23,573	10.1
合 計	21,574,000	100.0	22,266,000	100.0	△ 692,000	△ 3.1

人件費・・・職員給与, 特別職給与・報酬, 議員報酬, 非常勤特別職報酬など

扶助費・・・障がい者自立支援給付, 老人保護措置, 医療福祉費, 保育費, 生活保護費など

普通建設事業・・・小中学校整備, 文化会館改修, 総合運動公園整備, 道路改良など

物件費・・・設備管理委託費, 電算委託費, 光熱水費, 燃料費, 通信運搬費, 消耗品など

維持補修費・・・施設修繕費など

補助費等・・・一部事務組合等への負担金, 補助金, 交付金, 報償費など

(2) 特別会計

① 国民健康保険事業特別会計

医療制度改革によって、平成20年度より退職者医療制度が廃止され、65歳から74歳までの退職被保険者が一般被保険者に移行します。

保険給付費は、70歳から74歳(現役並み所得者以外)の保険者の負担割合が9割から8割となるため、減少しています。

また、特定健康診査や特定保健指導の開始により、保健事業費が増額になるとともに、後期高齢者医療制度の開始により、老人保健拠出金は後期高齢者支援金などに移行しています。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 国民健康保険税	1,935,636	2,393,751	△ 458,115	△ 19.1
2 一部負担金	5,588	2	5,586	279,300.0
3 使用料及び手数料	1,500	1,300	200	15.4
4 国庫支出金	1,678,944	1,717,003	△ 38,059	△ 2.2
5 療養給付費等交付金	534,319	1,275,043	△ 740,724	△ 58.1
6 前期高齢者交付金	1,120,824	0	1,120,824	皆増
7 県支出金	309,588	305,067	4,521	1.5
8 共同事業交付金	784,803	691,963	92,840	13.4
9 財産収入	85	43	42	97.7
10 繰入金	513,291	508,819	4,472	0.9
11 繰越金	1	1	0	-
12 諸収入	13,421	11,008	2,413	21.9
歳入合計	6,898,000	6,904,000	△ 6,000	△ 0.1

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 総務費	123,609	115,272	8,337	7.2
2 保険給付費	4,355,634	4,421,996	△ 66,362	△ 1.5
3 後期高齢者支援金等	842,106	0	842,106	皆増
4 前期高齢者納付金等	309	0	309	皆増
5 老人保健拠出金	306,735	1,214,000	△ 907,265	△ 74.7
6 介護納付金	420,275	431,468	△ 11,193	△ 2.6
7 共同事業拠出金	784,815	691,975	92,840	13.4
8 保健事業費	51,175	16,019	35,156	219.5
9 基金積立金	85	43	42	97.7
10 諸支出金	6,101	6,101	0	-
11 予備費	7,156	7,126	30	0.4
歳出合計	6,898,000	6,904,000	△ 6,000	△ 0.1

② 公共下水道事業特別会計

過去に借り入れた、借入利率が6%以上の政府・公庫資金の繰上償還や借換えを平成19・20年度に行うため、市債や公債費が大きく膨らんでいます。

下水道費の増加は、駒馬・長戸地区の事業の本格化により、補助整備事業費が増加したことによるものです。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 分担金及び負担金	12,823	33,369	△ 20,546	△ 61.6
2 使用料及び手数料	1,077,892	1,061,396	16,496	1.6
3 国庫支出金	53,600	33,300	20,300	61.0
4 財産収入	32	12	20	166.7
5 繰入金	411,749	538,619	△ 126,870	△ 23.6
6 繰越金	1,000	1,000	0	-
7 諸収入	7,004	6,504	500	7.7
8 市債	2,012,900	706,400	1,306,500	185.0
× 県支出金	0	2,900	△ 2,900	皆減
歳入合計	3,577,000	2,383,500	1,193,500	50.1

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 下水道費	875,703	862,206	13,497	1.6
2 公債費	2,700,415	1,520,469	1,179,946	77.6
3 予備費	882	825	57	6.9
歳出合計	3,577,000	2,383,500	1,193,500	50.1

③ 老人保健事業特別会計

後期高齢者医療制度への移行により、平成20年度は3月診療分や月遅れで請求のある分を残すのみとなるため、大きく減額となりました。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 支払基金交付金	216,964	2,214,197	△ 1,997,233	△ 90.2
2 国庫支出金	122,654	1,285,920	△ 1,163,266	△ 90.5
3 県支出金	30,663	321,479	△ 290,816	△ 90.5
4 繰入金	42,513	381,398	△ 338,885	△ 88.9
5 繰越金	1	1	0	-
6 諸収入	1,005	1,505	△ 500	△ 33.2
歳入合計	413,800	4,204,500	△ 3,790,700	△ 90.2

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 総務費	11,422	58,930	△ 47,508	△ 80.6
2 医療諸費	401,917	4,144,558	△ 3,742,641	△ 90.3
3 諸支出金	32	22	10	45.5
4 予備費	429	990	△ 561	△ 56.7
歳出合計	413,800	4,204,500	△ 3,790,700	△ 90.2

④ 公共用地先行取得事業特別会計

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 繰入金	1	1	0	-
2 諸収入	1	1	0	-
歳入合計	2	2	0	-

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 事業費	2	2	0	-
歳出合計	2	2	0	-

⑤ 農業集落排水事業特別会計

建設事業債の元金や平成19年度に借り入れた資本費平準化債の償還開始などにより、増額予算となりました

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 使用料及び手数料	2,528	2,520	8	0.3
2 繰入金	36,770	35,378	1,392	3.9
3 繰越金	1	1	0	-
4 諸収入	1	1	0	-
5 市債	11,800	9,700	2,100	21.6
歳入合計	51,100	47,600	3,500	7.4

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 農業集落排水事業費	13,444	12,332	1,112	9.0
2 公債費	37,537	35,197	2,340	6.6
3 予備費	119	71	48	67.6
歳出合計	51,100	47,600	3,500	7.4

⑥ 介護保険事業特別会計

高齢化社会の進展に伴い、利用者が増加し、保険給付費が伸びていることにより、増額予算となりました。

居宅介護や施設介護サービスに加え、介護予防サービスが増加しています。一方で、地域密着型介護サービスが減少傾向にあります。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 保険料	587,723	564,733	22,990	4.1
2 分担金及び負担金	4,344	4,728	△ 384	△ 8.1
3 使用料及び手数料	300	300	0	-
4 国庫支出金	587,971	544,954	43,017	7.9
5 支払基金交付金	848,426	780,551	67,875	8.7
6 県支出金	413,520	380,500	33,020	8.7
7 財産収入	514	170	344	202.4
8 繰入金	484,980	451,927	33,053	7.3
9 繰越金	1	1	0	-
10 諸収入	221	136	85	62.5
歳入合計	2,928,000	2,728,000	200,000	7.3

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 総務費	133,368	132,030	1,338	1.0
2 保険給付費	2,727,123	2,514,311	212,812	8.5
3 地域支援事業費	48,235	29,189	19,046	65.3
4 基金積立金	17,765	50,843	△ 33,078	△ 65.1
5 諸支出金	603	602	1	0.2
6 予備費	906	1,025	△ 119	△ 11.6
歳出合計	2,928,000	2,728,000	200,000	7.3

⑦ 介護サービス事業特別会計

訪問介護員によって、介護保険利用者にサービスを提供する事業会計です。昨年度とほぼ同様の予算となりました。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 サービス収入	10,128	10,512	△ 384	△ 3.7
2 繰入金	11,920	11,016	904	8.2
3 繰越金	1	1	0	-
4 諸収入	151	201	△ 50	△ 24.9
歳入合計	22,200	21,730	470	2.2

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 総務費	7,064	6,905	159	2.3
2 サービス事業費	15,031	14,727	304	2.1
3 予備費	105	98	7	7.1
歳出合計	22,200	21,730	470	2.2

⑧ 障がい者自立支援サービス事業特別会計

障がい者に対する訪問介護サービスの提供及び障がい児デイサービス施設(つぼみ園)の運営を行う事業会計です。

開園時間の延長や保育指導員の増員により、人件費が増額となっています。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 サービス事業収入	10,981	12,410	△ 1,429	△ 11.5
2 繰入金	32,083	19,955	12,128	60.8
3 繰越金	1	1	0	-
4 諸収入	35	34	1	2.9
歳入合計	43,100	32,400	10,700	33.0

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 総務費	19,876	10,019	9,857	98.4
2 サービス事業費	23,126	22,287	839	3.8
3 予備費	98	94	4	4.3
歳出合計	43,100	32,400	10,700	33.0

⑨ 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年4月の後期高齢者医療制度の開始に伴い、新たに設置される特別会計です。

75歳以上の高齢者を対象としており、主たる業務は後期高齢者医療広域連合が行い、市町村は保険料の徴収業務や健康診査を行います。

歳入

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 後期高齢者医療保険料	379,535	0	379,535	皆増
2 使用料及び手数料	50	0	50	皆増
3 繰入金	434,912	0	434,912	皆増
4 諸収入	4,503	0	4,503	皆増
歳入合計	819,000	0	819,000	皆増

歳出

(単位:千円, %)

款	平成20年度	平成19年度	比較	増減率
1 総務費	59,145	0	59,145	皆増
2 後期高齢者医療広域連合納付金	753,708	0	753,708	皆増
3 保健事業費	4,869	0	4,869	皆増
4 諸支出金	301	0	301	皆増
5 予備費	977	0	977	皆増
歳出合計	819,000	0	819,000	皆増

資 料

(資 料 1)

平成19年10月9日

各部課等の長 殿

市 長

平成20年度予算編成方針について

現在の我が国経済は、世界経済が中国等での景気拡大を背景に回復するなか、企業部門においては、雇用・設備・債務の三つの過剰が解消され、企業収益が改善するとともに設備投資が増加するなど好調さが持続している。一方、家計部門は、個人消費が持ち直しているが、給与所得は伸び悩んでおり、企業部門の好調さが完全に波及するには、なお時間を要する状況である。

また、少子高齢化が急激に進展し、人口の減少とともに年齢構成が大きく転換する局面に差し掛かっている。いわゆる「団塊の世代」の大量退職による生産年齢人口の急激な減少である。この問題は、人口の問題ばかりか、これまでに培った高度な知識・技術の継承という問題も包含しており、解決すべき緊急的課題となっている。

一方、高齢化社会の到来により、高齢者医療や介護といった社会保障サービスへの需要が急激に高まると予想され、これらを考えると巨額の債務残高を抱えた国の財政健全化は、我が国発展のために、一刻の猶予もなく取り組まなければならない政策課題であるのは明らかである。

この基本認識のもと、政府は、今後の予算編成にあたって、景気を支えるために国が需要を積み増す政策はとらず、税の自然増収を安易な歳出等に振り向けないで将来の国民負担の軽減に向け、新たに必要な歳出を計上する際は、原則として他の経費の削減で対応する等の考え方を示している。さらに、それでも対応しきれない社会保障費や少子化対策に伴う負担増に対する安定的な財源を確保し、将来世代への先送りを行わないこととしている。このためには、消費税問題は避けて通れないものであるが、その論議に際しては、徹底した歳出削減が前提になることは言うまでもない。

地方においては、「夕張ショック」が全国を駆けめぐり、改めて地方財政の疲弊や自治体経営状況の悪化がクローズアップされている。夕張市の問題は、ほとんどの自治体では起こり得ないことではあるが、国の財政再建を優先した政策により、地域経済が低迷を続け、地域の活力まで奪いつつある。さらに「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、全国の自治体が「健全」、「早期健全化」、「再生」に色分けされる自治体の選別が始まる。これにより、住民による自治体選択に拍車がかかり、自治体の格差が一層拡大するものと見込まれる。

本市の財政状況であるが、平成18年度普通会計決算を見ても、後年度の実質的な財政負担比率が251.6%、経常収支比率は95.4%とやや改善したものの、依然として高水準であり、財政構造は厳しい状況が継続している。このため、当面の財源不足に対応するとともに中長期的に持続可能な財政基盤を確立することが至上命題であり、行財政改革の着実な実行が不可避である。このようなことから「第二次財政健全化プラン」を策定したが、現在の状況を鑑みれば、我々の採りうる選択肢は自ずと厳しいものにならないを得ない。

平成20年度は、第五次総合計画における将来都市像である「共によるこび、ともに育てる健康・教育都市」の実現を軌道に乗せる重要な時期である。しかし、この実現のため重点・関連施策のすべてに財源が担保されているものではなく、その確保に向け、財政健全化の手綱を緩めることはできない。いや、さらに引き締めなければならない。

このため、「入るを量りて出づるを制す」という財政規律と、市政を担う職員の規律を堅持し、集中改革プランや第二次財政健全化プランに掲げた目標の早期達成に向けスピード感をもって改革に取り組まなければならない。

今、やらなければ将来の展望が開けないという極めて厳しい状況を十分に踏まえ、各部課等の長が強いリーダーシップを発揮し、各種事務事業を厳選するとともに、関係各課等との横断的な連携を深め、事業の目的・効果等について十分精査・検証し、後の副市長・企画財務部長通知に留意のうえ予算要求を行うよう通知する。

なお、平成20年度において推進すべき事項は、第五次総合計画におけるリーディングプロジェクトのとおりであるので、その主旨に添った予算要求をされるよう申し添える。

市政の「設計書」たる予算の編成にあつては、予算編成・執行に携わる者全てが、「規律とスピード」をもって、厳しい状況を打開し、市民サービスの向上に寄与されることを期待する。

(資 料 2)

1 人口と一般会計当初予算額の推移

(単位:人, 千円, %)

区分		16	17	18	19	20
人	口	78,267	78,648	79,025	78,979	79,275
予	算	23,444,000	21,550,000	22,264,000	22,266,000	21,574,000
対前年度増減率	人 口	0.8	0.5	0.5	△ 0.1	0.4
	予 算	10.4	△ 8.1	3.3	0.0	△ 3.1

(注) 人口は、各年3月31日現在の住民基本台帳人口(20年は1月1日現在)によります。

2 地方債現在高の推移(会計別)

(単位:千円)

区分	16	17	18	19	20
一般会計	30,644,692	30,262,714	29,922,947	29,062,230	28,436,008
公共下水道特会	17,154,104	16,867,969	16,628,152	16,331,902	16,157,876
農業集落排水特会	680,239	665,699	643,210	628,853	613,996
合 計	48,479,035	47,796,382	47,194,309	46,022,985	45,207,880

(注) 平成19年度及び20年度の計数は、見込額です。

3 財政指標の推移と比較(普通会計)

(単位:%, ポイント)

区分		14	15	16	17	18
実質収支比率	龍ヶ崎市	2.5	4.4	4.6	3.7	3.9
	県内市平均	3.4	4.8	5.3	5.7	5.4
	類似団体	3.0	3.8	2.7	3.5	-
経常収支比率	龍ヶ崎市	94.7	93.8	95.1	95.9	95.4
	県内市平均	87.5	86.3	90.3	91.0	91.0
	類似団体	88.0	86.9	93.0	91.9	-
公債費負担比率	龍ヶ崎市	15.7	17.3	17.0	17.7	17.7
	県内市平均	15.5	15.8	15.2	14.7	14.7
	類似団体	15.8	15.9	16.2	16.6	-
起債制限比率	龍ヶ崎市	10.9	11.7	12.1	12.1	11.5
	県内市平均	11.1	11.5	11.0	10.5	10.6
	類似団体	10.9	10.8	11.0	10.9	-
実質公債費比率	龍ヶ崎市	17.5	16.8	17.5	17.5	16.8
	県内市平均	15.0	15.4	15.0	15.0	15.4
	類似団体	15.3	15.3	15.3	15.3	-
財政力指数	龍ヶ崎市	0.74	0.74	0.75	0.76	0.77
	県内市平均	0.71	0.73	0.70	0.70	0.74
	類似団体	0.60	0.62	0.57	0.59	-

4 一般財源の推移

(単位:千円, %)

項 目	平成15年度 決算額	平成16年度 決算額	平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算見込額	平成20年度 予算額
1 市税	9,919,747	9,957,092	10,077,839	10,121,154	10,844,865	10,869,004
1 市民税	4,077,581	4,094,126	4,255,189	4,676,122	5,370,559	5,442,651
2 固定資産税	4,560,889	4,565,781	4,535,006	4,195,945	4,221,501	4,189,265
3 軽自動車税	73,226	77,863	83,831	88,881	92,966	103,106
4 市たばこ税	470,303	494,823	488,108	506,327	507,666	485,000
5 特別土地保有税	1,521	300	296	0	0	2
6 都市計画税	736,227	724,199	715,409	653,879	652,173	648,980
2 地方譲与税	355,023	510,228	645,528	893,943	370,153	365,500
1 所得譲与税		128,751	270,508	523,790		
2 自動車重量譲与税	264,303	281,047	277,964	275,385	275,385	271,000
3 地方道路譲与税	90,720	100,430	97,056	94,768	94,768	94,500
3 利子割交付金	94,541	92,473	57,322	37,737	58,760	57,200
4 配当割交付金		15,354	27,695	45,533	39,200	59,300
5 株式等譲渡所得割交付金		15,549	40,514	30,658	48,400	30,100
6 地方消費税交付金	594,572	662,428	615,874	651,027	667,357	647,000
7 ゴルフ場利用税交付金	63,962	60,565	52,657	52,752	52,752	55,000
8 特別地方消費税交付金						
9 自動車取得税交付金	168,361	169,401	160,854	161,040	160,000	134,300
10 地方特例交付金	356,260	342,460	350,203	266,906	59,238	117,400
11 普通交付税等	4,346,416	3,761,414	3,392,364	3,136,092	2,925,370	2,819,100
1 普通交付税	2,877,616	2,697,414	2,577,064	2,389,992	2,248,570	2,185,000
2 臨時財政対策債	1,468,800	1,064,000	815,300	746,100	676,800	634,100
12 特別交付税	646,149	580,169	555,159	527,121	503,927	400,000
13 交通安全対策特別交付金	18,315	18,222	18,329	18,512	18,586	18,000
小 計	16,563,346	16,185,355	15,994,338	15,942,475	15,748,608	15,571,904
対前年度増減額	156,395	△ 377,991	△ 191,017	△ 51,863	△ 193,867	△ 176,704
対前年度増減率	1.0	△ 2.3	△ 1.2	△ 0.3	△ 1.2	△ 1.1
14 市債	128,000	124,700	134,200	97,500	0	
1 減税補てん債	128,000	124,700	134,200	97,500		
合 計	16,691,346	16,310,055	16,128,538	16,039,975	15,748,608	15,571,904
対前年度増減額	145,395	△ 381,291	△ 181,517	△ 88,563	△ 291,367	△ 176,704
対前年度増減率	0.9	△ 2.3	△ 1.1	△ 0.5	△ 1.8	△ 1.1
一般基金繰入(見込)額	95,658	794,401	606,898	639,908	708,677	863,104
うち総合運動公園基金	91,053	320,765	35,501	136,290	87,400	29,173
うちその他基金	4,605	473,636	571,397	503,618	621,277	833,931
一般基金残高(見込残高)	6,635,073	5,859,147	5,281,914	4,675,219	3,975,284	3,153,313
対前年度増減率(残高)	△ 1.3	△ 11.7	△ 9.9	△ 11.5	△ 15.0	△ 20.7

(注) 平成19年度決算見込額は財政課試算額です。
基金繰入は積替のための繰入を除きます。

5 将来における財政負担の状況

(単位:千円)

区分		平成16年度末現在			平成17年度末現在		
		現在高 A	特定財源及び 交付税算入額 B	実質負担額 A-B	現在高 A	特定財源及び 交付税算入額 B	実質負担額 A-B
地方債	一般会計	30,644,691	15,841,690	14,803,001	30,262,714	15,630,080	14,632,634
	特別会計	17,834,342	8,303,110	9,531,232	17,533,669	8,162,123	9,371,546
	公共下水道特会	17,154,103	7,772,524	9,381,579	16,867,969	7,642,877	9,225,092
	農業集落排水特会	680,239	530,586	149,653	665,700	519,246	146,454
	小計	48,479,033	24,144,800	24,334,233	47,796,383	23,792,203	24,004,180
公債費に準ずる債務負担		9,200,064	989,127	8,210,937	8,714,680	879,297	7,835,383
龍ヶ崎地方塵芥処理組合		6,132,800	3,217,267	2,915,533	5,458,682	2,863,625	2,595,057
合計		63,811,897	28,351,194	35,460,703	61,969,745	27,535,125	34,434,620

(単位:千円)

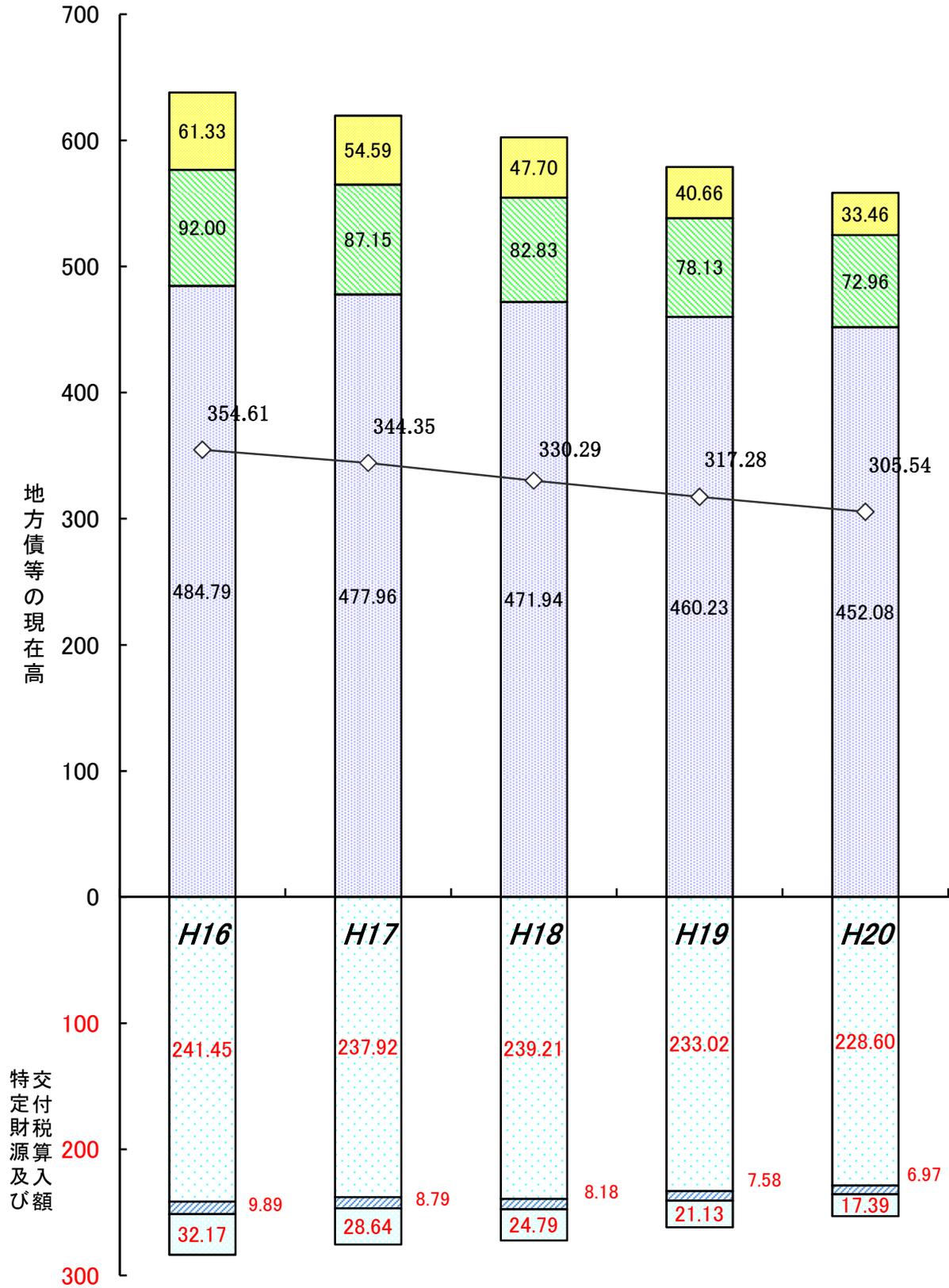
区分		平成18年度末現在			平成19年度末現在(見込)		
		現在高 A	特定財源及び 交付税算入額 B	実質負担額 A-B	現在高 A	特定財源及び 交付税算入額 B	実質負担額 A-B
地方債	一般会計	29,922,947	15,419,656	14,503,291	29,062,230	14,954,573	14,107,657
	特別会計	17,271,362	8,501,420	8,769,942	16,960,755	8,347,615	8,613,140
	公共下水道特会	16,628,152	7,981,513	8,646,639	16,331,902	7,839,313	8,492,589
	農業集落排水特会	643,210	519,907	123,303	628,853	508,302	120,551
	小計	47,194,309	23,921,076	23,273,233	46,022,985	23,302,188	22,720,797
公債費に準ずる債務負担		8,283,439	818,166	7,465,273	7,812,883	757,639	7,055,244
龍ヶ崎地方塵芥処理組合		4,769,746	2,479,314	2,290,432	4,065,667	2,113,334	1,952,333
合計		60,247,494	27,218,556	33,028,938	57,901,535	26,173,161	31,728,374

(単位:千円)

区分		平成20年度末現在(見込)			平成19・20年度対比		
		現在高 A	特定財源及び 交付税算入額 B	実質負担額 A-B	現在高 A	特定財源及び 交付税算入額 B	実質負担額 A-B
地方債	一般会計	28,436,008	14,608,121	13,827,887	△ 626,222	△ 346,452	△ 279,770
	特別会計	16,771,872	8,252,073	8,519,799	△ 188,883	△ 95,542	△ 93,341
	公共下水道特会	16,157,876	7,755,780	8,402,096	△ 174,026	△ 83,533	△ 90,493
	農業集落排水特会	613,996	496,293	117,703	△ 14,857	△ 12,009	△ 2,848
	小計	45,207,880	22,860,194	22,347,686	△ 815,105	△ 441,994	△ 373,111
公債費に準ずる債務負担		7,296,432	697,111	6,599,321	△ 516,451	△ 60,528	△ 455,923
龍ヶ崎地方塵芥処理組合		3,346,111	1,739,308	1,606,803	△ 719,556	△ 374,026	△ 345,530
合計		55,850,423	25,296,613	30,553,810	△ 2,051,112	△ 876,548	#####

(注) 交付税算入額は、現行算入率に基づく試算です。

(単位: 億円)



地方債等の現在高	地方債	債務負担	塵芥処理組合
特定財源及び額	地方債	債務負担	塵芥処理組合
実質負担残高	—◇— 実質負担額		